

上水道施設に係わる CAD 製図基準(案)

平成 24 年 7 月

社団法人 日本水道協会

上水道施設に係わる CAD 製図基準（案）

－ 目 次 －

まえがき	1
本書の位置づけ	2
1 総則	3
1-1 適用範囲	3
1-2 対象工種	3
1-3 図面表記方法（レイアウト）	5
1-4 図面様式（紙出力様式）	5
1-4-1 図面の大きさ	5
1-4-2 図面の正位	6
1-4-3 輪郭(外枠)と余白	6
1-4-4 表題欄	8
1-4-5 尺度	9
1-5 CAD データの作成	10
1-5-1 CAD データファイルのフォーマット	10
1-5-2 CAD データの名称	11
1-5-3 SAF ファイルの名称	13
1-5-4 ラスタファイルの名称	14
1-5-5 レイヤの名称	17
1-5-6 レイヤの分類方法	18
1-5-7 色	19
1-5-8 線	20
1-5-9 文字	22
1-5-10 図形及び寸法の表し方	23
1-5-11 部分図の利用（座標系）	25
1-6 成果品	26
1-6-1 CAD データに関する成果品ならびにフォルダ構成、図面管理項目等	26
1-6-2 著作権法上の留意点	26
1-7 測量データに関する取扱い	27
2 図面種類一覧	28
2-1 水道管路	28
2-2 土木	28
2-3 建築	29

2-4	建築機械設備	30
2-5	建築電気設備	30
2-6	機械設備	31
2-7	電気設備	31
3	レイヤー一覧	32
3-1	水道管路	33
3-2	土木	42
3-3	建築	55
3-4	建築機械設備	72
3-5	建築電気設備	75
3-6	機械設備	79
3-7	電気設備	83
付属資料 1	表示記号 (例)	92
付属資料 2	図面管理ファイルの DTD	96
付属資料 3	図面管理ファイルの XML 記入例	98

まえがき

国土交通省により平成 8 年に策定された建設 C A L S 整備基本構想を契機とし、調査・設計業務及び工事における電子納品制度の導入が推進されている。

電子納品制度を導入している事業体の多くは、国土交通省が定めた「電子納品要領（案）」などの要領やガイドラインに準拠し運用している。しかし、C A D による図面作成について定めた「C A D 製図基準（案）」については、水道事業体が発注する浄水場や管路等の水道施設に関する仕様が定められていなかった。

今後も多くの水道事業体において、電子納品制度の導入が進むものと思われるが、各発注者が個別に C A D 製図基準を定めた場合、受注者に対して過重な負担となることや、図面作成上混乱をきたすことが考えられる。また、日本水道協会第 79 回総会において、「上水道施設に係る C A D 製図基準の策定要望」が会員より提出された。

このようなことから、日本水道協会工務常設調査委員会に「上水道施設に係る C A D 製図基準（案）検討専門委員会」を設置し、共通基準の策定に向けて検討を行ってきた。

本書は、こうした背景をもとに策定したものである。

なお、電子納品に係わる事項の理解に役立つよう、本書と併せて「上水道施設に係わる C A D 製図基準（案）運用ガイドライン（案）」を策定しているので、作成した C A D ファイルの保管・取り扱いの際に活用していただきたい。

本書の位置づけ

上水道施設に係わる CAD 製図基準（案）（以下「本基準（案）」という。）は、水道事業体が施行する調査・設計委託及び工事において、CAD 図面を作成する際の基本事項について、国土交通省が定める電子納品関係要領（案）及び基準（案）（以下「要領・基準」という。）等に準拠しつつ、水道事業体における運用について提案するものである。

今後の電子成果品活用による業務の効率化、水道事業の広域化等の流れを踏まえると、各事業体が本書を有効に活用して CAD 製図を行い、データ仕様の共通化を図ってゆくことが望ましい。

なお、本要領で準拠した国土交通省の要領・基準は下表のとおりである。

要領・基準名称	年月
CAD 製図基準(案)	平成 20 年 5 月

※ 国土交通省では上記（一般土木分野）の他に、機械分野、電気分野及び官庁営繕事業（建築）の要領・基準が個別に策定されている。

水道事業体における電子納品を混乱なく円滑に実施するため、上記要領・基準を基本に一本化し、土木分野、建築分野、機械分野及び電気分野の電子納品に対応できるものとした。なお、本書の作成にあたっては、東京都水道局の「CAD 製図基準」及び「CAD 製図基準運用ガイドライン」を参考にした。

1 総則

1-1 適用範囲

本基準（案）は、CAD ソフトウェアを利用した上下水道施設に係わる製図を行う際のデータ作成に適用する。

【解説】

- (1) 本基準（案）は、水道工事の設計図、完成図等に適用する。
- (2) 本基準（案）に規定していない事項については、次の基準などに従う。

ア CAD 製図基準（案）【国土交通省】

イ JIS A 0101:2003：土木製図通則【(財)日本規格協会】

ウ 土木製図基準：平成 15 年【(社)土木学会】

エ 土木 CAD 製図基準(案)：平成 17 年【(社)土木学会】

オ JIS Z 8310：製図総則【(財) 日本規格協会】

カ JIS B 0001：機械製図【(財) 日本規格協会】

1-2 対象工種

本基準（案）の対象工種は、次に示すとおりである。

工 種	概要
水道管路	配管又は管路
土 木	浄水場・配水池・ポンプ所 等（土木）
建 築	浄水場・配水池・ポンプ所 等（建築）
建築機械	浄水場・配水池・ポンプ所 等（建築機械）
建築電気	浄水場・配水池・ポンプ所 等（建築電気）
機 械	浄水場・配水池・ポンプ所 等（機械）
電 気	浄水場・配水池・ポンプ所 等（電気）

【解説】

（１）水道施設は、土木、建築、機械、電気等の工事種別が一体となった施設であるため、国土交通省の CAD 製図基準（案）で定める対象工種（34 工種）とは異なる体系とする。

(2) すべての図面は、作図目的と機能から、表 1-1 のように分類される。

表 1-1 図面の分類

分類名	目 的	図面例	含まれる内容等	摘 要
【1種】 案内図	工事箇所を特定し、既存の施設との関係を明示する図面。公共座標との関連を示すこともある。	位置図、 一般図	工事箇所、始点終点、 工事要素の名称など。	基図に国土地理院発行の地形図(1/2.5万、 1/5万)を用いる場合が多い。
【2種】 説明図	工事区域内で使用する座標系、測点による工事の全体の形状、含まれる工種の全貌を示す図面。	一般平面図、 縦断(面)図、 横断(面)図、 応力図、 仮設工一般図	本体構造物、地形、 水位・潮位、土質・地質、 主要な既設構造物など。	横断図、縦断図においては、 工事数量の算出に利用する。
【3種】 構造図	個別の構造物の形状、組合せ、寸法、材質、仕上げ精度などを示す図面。	〇〇構造図、 〇〇工、 標準断面図、 用排水系統図 単線結線図	仕上りの形状・寸法又は 材料、部品の組合せなど。	詳細図がない場合、 数量算出の根拠となる。
【4種】 詳細図	単一の部材の形状・寸法、数量を示す。またその組合せで複数の部材を表現する図面。	〇〇詳細図、 配筋図、 細部構造図、 土積図	材料(切土、盛土)単体の 形状、寸法、材質、規格、 重量。 (数量集計表を含む。)	数量算出の根拠となる。 仕上りの向き、形とは一致しないことが多い。

注) 仮設工についても、図面の性格により、全体を説明する図、構造形態を表す図、数量算出根拠となる図に区分される。

1-3 図面表記方法（レイアウト）

本基準（案）では、設計図面表記については、次を標準とする。

【各工種共通】

(1) 平面図

- ・ 図には、原則として方位を示す。
- ・ 図の右上には、指定する縮尺の案内図を記入する。
- ・ 道路には、国道、都道、区道等の区別及び境界を明示し、通称道路名、道路番号及び舗装の種別も記入する。
- ・ 河川には、その名称、流路幅、流水方向その他必要事項を記入する。
- ・ 路線内の埋設物の名称、位置、土被り、形質及び寸法等を記入する。
- ・ 中心線は20mごとの測点番号を付する。

(2) 縦断面図

- ・ 地形の縦断面は、平面図の中心線測点ごとに沿って書き、著しい変化のある場合は細部も記入する。
- ・ 図の右側は、後日使用するため調査委託担任者の指示により余白を設ける。
- ・ 図の下側には、原則として、測点、追加距離、区間距離、管中心高、内径土被り等を記入する欄を設ける。
- ・ 図の基準線（D.L.）には、原則として T.P.（または各事業体が定める標高）を表示する。

1-4 図面様式（紙出力様式）

1-4-1 図面の大きさ

図面の大きさは、JIS P 0138（紙加工仕上寸法）のうち、A1判、A2判、A3判とする。

【解説】

- (1) 図面の大きさは、表 1-2 とする。

表 1-2 図面の大きさ

単位：mm			
大きさの呼び方	A1 判	A2 判	A3 判
縦×横	594×841	420×594	297×420

1-4-2 図面の正位

図面は、その長辺を横方向においた位置を正位とする。

【解説】

土木製図基準においては、図面の正位は長辺を横方向、又は縦方向どちらに置いてもよいと記載されている。しかし、本基準（案）では、に示すように長辺を横方向に置いた位置を正位とする。

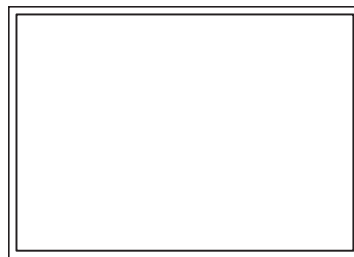


図 1-1 長辺を横方向にした配置

1-4-3 輪郭(外枠)と余白

図面には輪郭を設ける。輪郭線は実線とし、線の太さは 1.4mm を標準とする。
輪郭外の余白は 20mm 以上を標準とする。

【解説】

ここで示した輪郭線の太さ、余白の寸法は、図面の大きさが A1 判を標準とした場合であり、用紙の大きさに応じて適宜変更してよい。

輪郭は、作図領域を明確に示すために設けるものである。

また、紙で出力する場合、用紙の縁から生ずる損傷で記載事項を損なわないように余白を確保するためでもある。

CAD データを作成する段階において図面の余白（図面の輪郭外）に作図する場合があるが、最終成果では不要なデータを削除する。

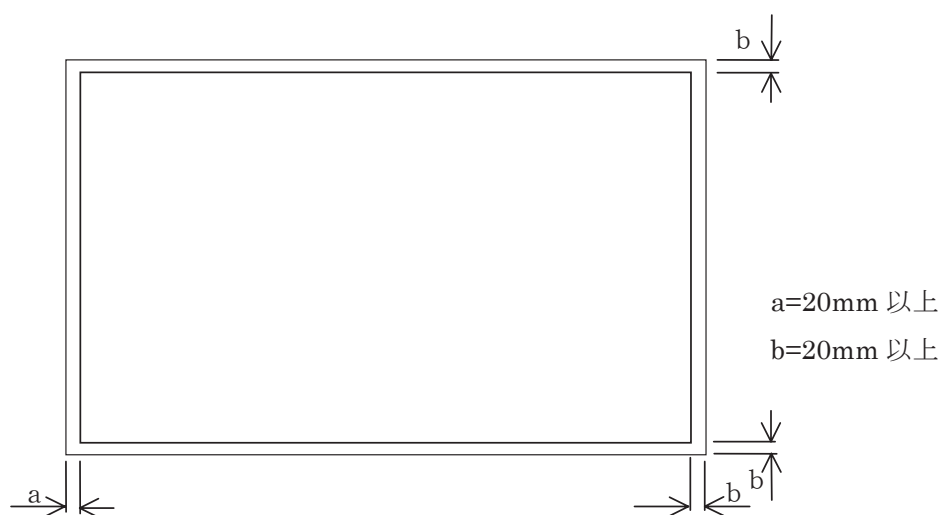


図 1-2 輪郭外の余白寸法

図面を綴る必要がある場合は、綴る側にさらに 20mm 以上のとじ代を設けたほうがよい。

1-4-4 表題欄

表題欄の位置は輪郭線の右下隅とする。

表題欄には工事名、図面名、日付、尺度、図面番号、会社名および事業者名を表す欄を設ける。

表題欄の横幅は 170mm 以下とする。

【解説】

表題欄は、図面の管理上必要な図面識別の事項、図面内容に関する定形的な事項などをまとめて記入するためのものである。

(1) 日付

日付欄に記載する日付としては、作成日付、提出日付、承認日付などさまざまな日付が考えられるので、発注者毎、当事者毎に誤解のないように運用する必要がある。

(2) 尺度

尺度欄の「尺度」という表現は最も一般化した表現である。これには縮尺、現尺、倍尺が含まれるが、通常の土木図面で現尺や倍尺を使用することは殆どないことから、「縮尺」と表示することも可能である。図面内に複数の尺度が存在する場合には、表題欄には、代表尺度を記載するかまたは「図示」と記入し、各図の近傍に尺度を記入する。

(3) 図面番号

図面番号は、従来の紙図面による納品時や発注時の図面帳の通し番号をつけることにより特定の 1 枚の図面を図別したり、引渡し時に図面の過不足を防止するために付けられていた。電子データとして図面の有効利用を考える場合、図面を識別する番号として図面を一意に特定できるよう付番することとし、ライフサイクルを通じて同じ番号が利用できることが望ましい。なお、付番の方法は、関係者間で協議する。

なお、この図面番号とファイル名の図面番号部とは性格が異なるので、一致する必要はない。

(4) その他

会社名は図面を作成した会社の名前を、事業者名は事業主体すなわち図面の法的所有者の名前を記入する。

表題欄の例を図 1-3 に示す。

図 1-3 表題欄の例

工事名		10
図面名		10
年月日		10
尺 度		10
図面番号		10
会社名		10
事業者名		10
20	80	70
100		

1-4-5 尺度

図面の尺度は、次に示す尺度（縮尺）を標準とする。

案内図：	1:10,000～1:50,000 1:1,000～1:5,000（延長等が短い場合）
平面図：	1:100～1:500
縦断面図：	H=1:500 または H=1:1,000、V=1:100
横断面図：	H=1:20～1:100
構造図：	1:20～1:100
付帯構造図：	1:20～1:100
仮設図：	1:10～1:200

【解説】

CAD で図面を作図する場合は実寸で作図することが多いが、ここで定める尺度とは、紙に出力する場合の尺度（縮尺）のことである。

尺度とは、「図形の大きさ（長さ）と対象物の大きさ（長さ）との割合（JIS Z 8114）」を指し、倍尺、現尺及び縮尺に分類される。このうち縮尺とは「対象物の大きさ（長さ）よりも小さい大きさ（長さ）に図形を描く場合の尺度（JIS Z 8114）」を指し、作図される図形の寸法とその実物の縮小比を示し、一般的には図形寸法を 1 として表現する。

標準仕様書で尺度（縮尺）が明確に定められていない図面(例えば「1:200～1:500、適宜」などと表現されている図面等)については、土木製図基準に示される尺度のうち、適当な尺度（縮尺）を用いる。

土木製図基準では、1:A において、A は 1×10^n 、 2×10^n 又は 5×10^n （n は整数）をなるべく優先し、 1.5×10^n 、 2.5×10^n 、 3×10^n 、 4×10^n 又は 6×10^n を次善としている。

また、JIS Z 8314 では $1:10\sqrt{2}$ 、 $1:200\sqrt{2}$ 又は $1:5\sqrt{2}$ のように $\sqrt{2}$ 倍する A の値を許しているが、これは写真操作で拡大・縮小することを考慮したものである。

また、図面内に複数の尺度（縮尺）が存在する場合には、図の上部に記載する表題の近傍に表題より少し小さい文字の大きさで尺度（縮尺）を併記する。

1-5 CAD データの作成

1-5-1 CAD データファイルのフォーマット

CAD データを保存するファイル形式は、ISO 10303-202:1996 のサブセットとして規定された SXF 仕様（原則 P21 とし、各事業体の状況により SFC を用いてもよい。以下本書では P21 を前提に記述する）とする。

一時的なデータ交換のために使用する場合は関係者相互に認めた SXF 仕様以外のファイル形式を用いてもよい。また、各事業体で使用する CAD ソフトウェアのオリジナルファイル形式も加えて納入することとしてもよい。

【解説】

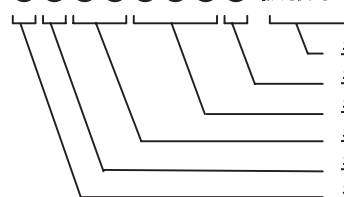
- (1) SXF (Scadec data eXchange Format) は、STEP AP202(製品モデルとの関連を持つ図面)規格を実装した CAD データ交換標準である。これは、「CAD データ交換標準開発コンソーシアム(SCADEC)(平成 11 年 3 月から平成 12 年 8 月まで)」、「建設情報標準化委員会 CAD データ交換標準小委員会(平成 12 年 9 月から)」(いずれも JACIC(財団法人日本建設情報総合センター)が設置した。)にて策定されたもので、ISO TC184/SC4(STEP 規格を審議する国際会議)にて、STEP 規格を実装したものであることが認知されている。SXF の物理ファイルには、国際標準に則った「P21(Part21)形式」と、国内 CAD データ交換のための簡易形式である「SFC 形式」の 2 種類がある。本基準（案）では、P21 形式を標準とする。納品する際の SXF (P21) 形式のバージョンとレベルは、関係者間の環境が整備されるまでは、SXF Ver.2.0 レベル 2 を原則とする。ただし、関係者間協議等により SXF Ver.3.0 レベル 2 以上で納品することも可能とする。
- (2) 本基準（案）では、構造物のライフサイクルを考慮し、納品されたデータが半永久的に閲覧・編集できるよう永続性を確保すること、また、国外企業の参入を妨げないことが必須であるため、CAD データファイルのフォーマットに SXF (P21)を採用することを前提にしている。SXF に関しては、上水道施設に係わる CAD 製図基準（案）運用ガイドライン（案）に位置づけ等が記述されている。
- (3) 上記フォーマット以外にも、各事業体で使用している CAD ソフト等のファイル形式を当事者間の合意の下、中途において標準的に使用したり、納品においては上記と併せて納品することとしてもよい。（納品時には、「W_JIGYOUTAI」フォルダに格納するものとする。）

1-5-2 CAD データの名称

CAD データのファイル名は、次の原則に従う。

ライフ サイクル	整理 番号	図面 種類	図面 番号	改定 履歴	拡張子	図面
S D C M	0～9	KM	001～ 999	0～9 A～Z	拡張子	一般平面図
	A～Z	PN				管路図
		PL				平面図
		PF				縦断図
		CS				横断図
		AP				付帯施設構造図
		PI				管割図
		AB				配筋図
		TP				仮設図

○○○○○○○○○.拡張子



- 半角英数字(3文字): 拡張子 (.p21)
- 半角英数字(1文字): 改訂履歴(0～9、A～Y、最終はZとする)
- 半角数字(3文字): 図面番号(001～999)
- 半角英字(2文字): 図面種類(ex.一般平面図:KM)('2 図面種類一覧'参照)
- 半角英数字(1文字): 整理番号(0～9、A～Z)
- 半角英字(1文字): ライフサイクル(S:測量、D:設計、C:施工、M:維持管理)

【解説】

- (1) 公共事業においては、各段階で複数の関係者が CAD データを交換し、修正や再利用を行う。また事業に伴って大量の CAD データが作成されるので、効率的に CAD データを検索する必要がある。そこで、ファイル名から図面種類、図面番号、改訂履歴がある程度把握できるように、ファイル名の付け方を規定した。ここでの 1 ファイルとは 1 図面のことを示す。具体的な図面種類の名称は、2 図面種類一覧を参照する。

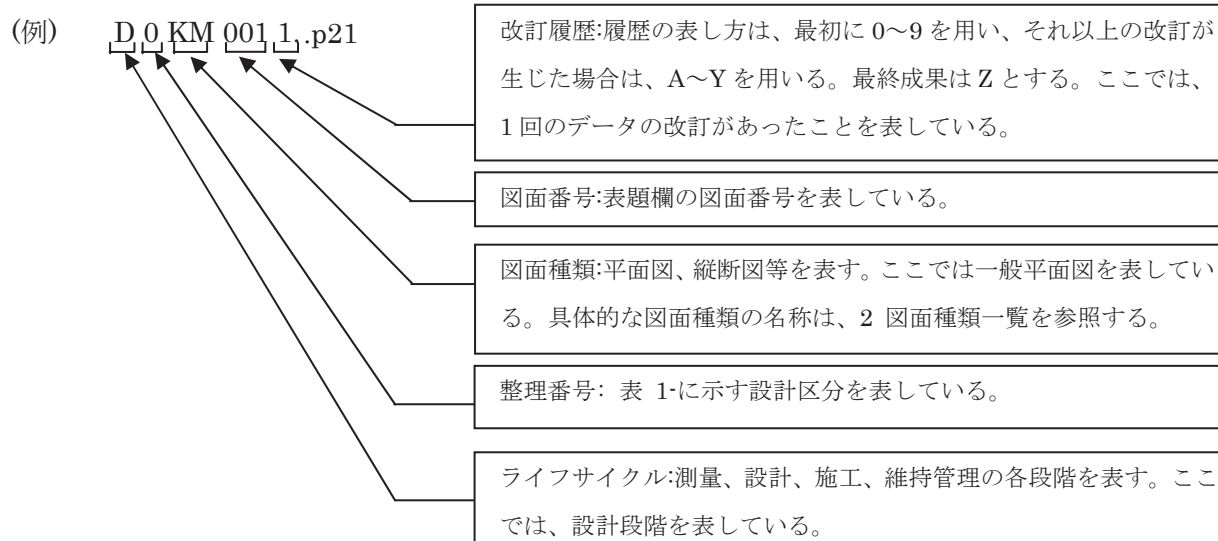


図 1-4 CAD データ（SXF 形式）の命名規則の解説

整理番号は、当該図面の設計区分を次の表により、1 文字で表す。

表 1-3 設計区分と整理番号

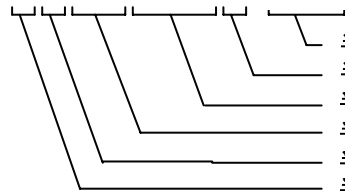
設計区分	整理番号
水道管路	0
土 木	1
建 築	2
建築機械	3
建築電気	4
機械設備	5
電気設備	6
計画設計	7
基本設計	8
その他	9

また、図面種類でファイル名一覧に該当しないファイル名をつける場合においても、関係者間で協議し決定する。その場合は、図面管理項目の「追加図面種類（略語）」、「追加図面種類（概要）」に記述しておく。

1-5-3 SAF ファイルの名称

SXFVer.3.0 レベル 2 以上の CAD データで利用する SAF ファイルの名称は、参照する（元図となる）CAD データのファイル名称と同様とし、次の原則に従う。

○○○○○○○○○.saf



【解説】

SAF ファイルとは、SXF Ver.3.0 レベル 2 以上の機能を利用した場合に生成される属性ファイルである。SAF ファイルのファイル名称は、参照する（元図となる）CAD データのファイル名称と同様として、拡張子を SAF とする。

例) 設計業務において、図面番号が 001 の一般平面図 (D0KM001Z.p21) に対応する SAF ファイルを格納する場合

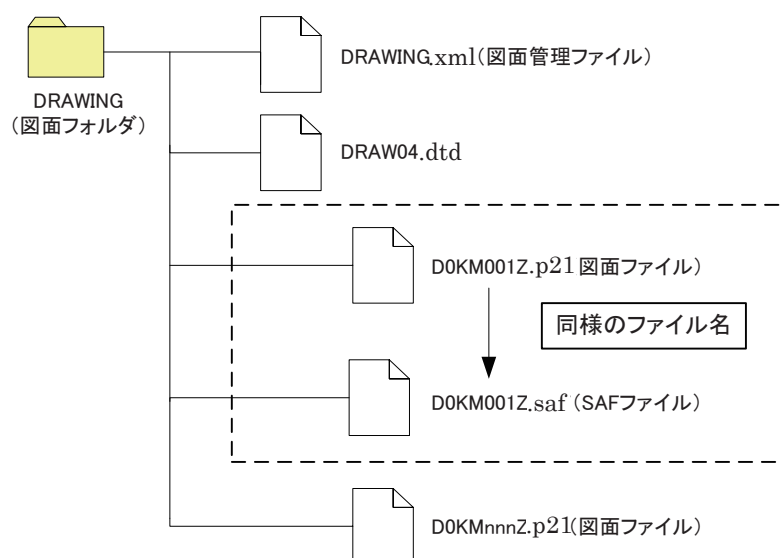


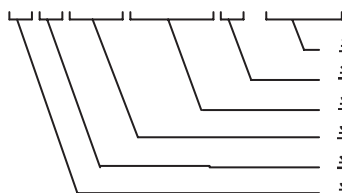
図 1-5 SAF ファイルの格納例（設計業務の場合）

1-5-4 ラスタファイルの名称

CAD データで利用するラスタファイルの名称は、次の原則に従う。

1. SXFVer.2.0 レベル 2 で保存（出力）するときのラスタファイルの名称

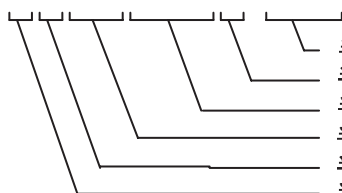
○○○○○○○○○.TIF



半角英大文字(3文字): 拡張子(.tif)
半角英数大文字(1文字): 改訂履歴(0~9、A~Y、最終はZとする)
半角数字(3文字): 図面番号(001~999)
半角英大文字(2文字): 図面種類(ex.一般平面図:KM)(「2 図面種類一覧」参照)
半角英数大文字(1文字): 整理番号(0~9、A~Z)
半角英大文字(1文字): ライフサイクル(S:測量、D:設計、C:施工、M:維持管理)

2. SXFVer.3.0 レベル 2 以上で保存（出力）するときのラスタファイルの名称

○○○○○○○○○.拡張子



半角英大文字(3文字): 拡張子(.tif, .jpg)
半角英数大文字(1文字): 改訂履歴(0~9、A~Y、最終はZとする)
半角数字(3文字): 図面番号(001~999)
半角英大文字(2文字): 図面種類(ex.一般平面図:KM)(「2 図面種類一覧」参照)
半角英数大文字(1文字): 整理番号(0~9、A~Z)
半角英大文字(1文字): ライフサイクル(S:測量、D:設計、C:施工、M:維持管理)

【解説】

外部ファイルは、CAD データが参照することによりその CAD データの一部を構成するファイルである。外部ファイルとなるものには、ラスタデータ、表計算、文書、写真、他の CAD データなどが挙げられる。外部ファイルを参照する CAD データは、あらかじめデータ中に外部ファイルのファイル名と相対パスや絶対パスを定義しているので、CAD データを受け渡す場合には、それらが確保された状態で外部ファイルも同時に受け渡す必要がある。

しかし、外部ファイルの参照方法は CAD ソフトウェアにより異なるため、異なる CAD ソフトウェア間で外部ファイルを参照する CAD データを交換する場合には、事前に再現性を確認することが望ましい。

SXF Ver2.0 では、外部ファイルとしてラスタデータを 1 ファイルのみ取り扱うことができる。また外部ファイルは CAD データと同じフォルダに格納することとされている。

SXFVer3.0 ではラスタデータを、属性付加機構を使用して扱うように変更されていて、複数のラスタデータが扱えるようになっている。

(1) SXF Ver.3.0 レベル 2

SXF Ver.2.0 レベル 2 においては、1 枚の CAD データに添付できるラスタファイルは、1 枚の TIFF 形式のファイルである。

ラスタファイルの名称は上に示すラスタファイルの命名規則に従い、参照する（元図となる）CAD データの名称と同様とし、拡張子を.tif とする。

例) 設計業務において、図面番号が 001 の一般平面図 (D0KM001Z.p21) で、1 枚のラスタファイルを格納する場合

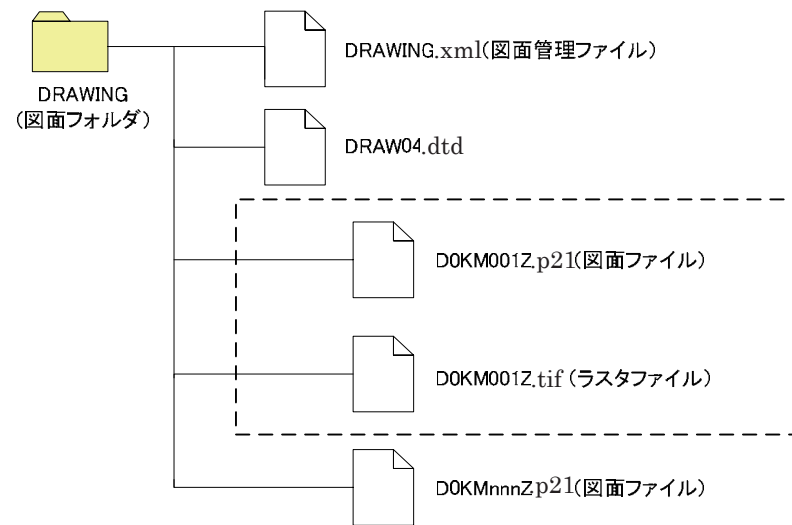


図 1-6 SXF Ver.2.0 レベル 2 におけるラスタファイルの格納例
(設計業務の場合)

(2) SXF Ver.3.0 レベル 2 以上

SXF Ver. 3.0 レベル 2 以上においては、1 枚の CAD データに添付できるラスタファイルは、複数枚の JPEG、TIFF 形式のファイルである。

SXF Ver. 3.0 レベル 2 以上のラスタファイルの名称は、参照する (元図となる) CAD データと同様の「ライフサイクル」「整理番号」「図面種類」「図面番号」とし、拡張子 (.jpg、.tif) の直前に「ラスタファイル番号」を昇順で付番する。また、ラスタファイルは 9 枚までの対応とし、「ラスタファイル番号」は 1 から 9 までを昇順で付番する。

例) 土木設計業務において、図面番号が 003 の平面図 (D0PL003Z.p21) で、4 枚のラスタファイルを格納する場合

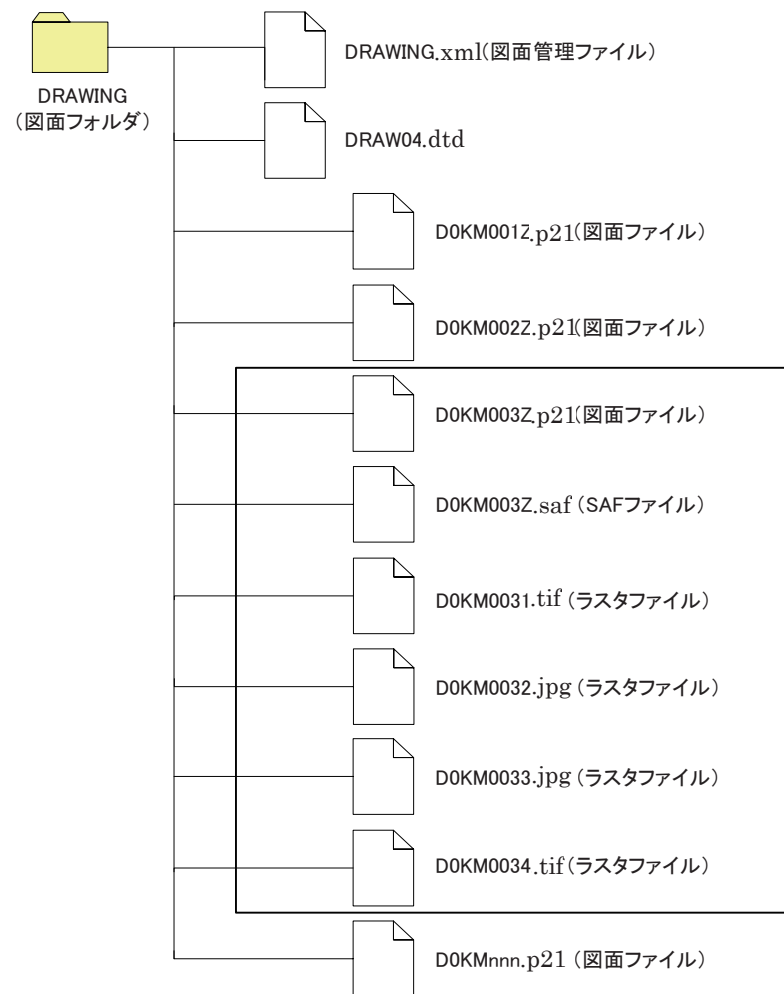
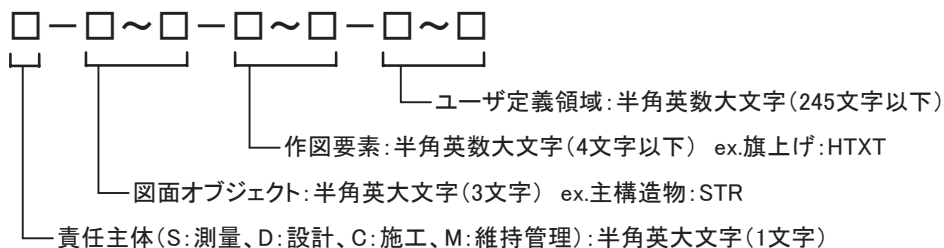


図 1-7 SXF Ver.3.0 レベル 2 以上でのラスタファイルの格納例
(設計業務等の場合)

1-5-5 レイヤの名称

CAD データのレイヤ名は、次の原則に従う。レイヤの文字数は全体で 256 文字以内とする。



【解説】

CAD では、図形要素をレイヤに割り当てることによって、図面上の情報をレイヤ単位で扱うことができる。CAD では作業効率を向上させるため、レイヤ単位ごとに色や線種の設定、画面上の表示・非表示の設定、紙への出力・非出力の設定が可能である。そのため、レイヤを用いて次のようなことが可能である。

- (1) 図面要素や寸法、注記などの補助図形要素をレイヤに入れておくことにより、図形要素と補助図形要素の表示や出力を個別に行うことができる。
- (2) レイヤ構造を整理することにより、ライフサイクルにわたって図面を活用するときの図形要素の修正、検索が容易になる。
- (3) 作業中、必要なレイヤのみを表示して、画面を見やすくすることができる。

本基準（案）では、レイヤ名から図形要素・補助図形要素を把握するために、「3 レイヤー一覧」に示すレイヤ名を定めた。「3 レイヤー一覧」にない施設や複数工種等の対応は、関係者間で協議し、作図要素（3 階層目）及びユーザ定義領域（4 階層目）に限って新規レイヤを作成することができる。その場合は、作成したレイヤ名及び作図内容の概要を図面管理項目の「新規レイヤ名（略語）」「新規レイヤ（概要）」に記述する。

ただし、ハイフン（-）の利用は、責任主体、図面オブジェクト、作図要素、ユーザ定義領域のそれぞれをつなぐ場合のみ使用し、4 階層目のユーザ定義領域以降にハイフン（-）は使用してはならない。

レイヤ名の責任主体とは、各フェーズでの全体的責任を持つ組織（発注者の場合は管轄部署等）を指す。測量(S)、設計(D)、施工(C)及び維持管理(M)として全体的責任権限を持つ組織（発注者）を指す。

また、責任主体は、該当するレイヤを修正したときのみ変更する。

1-5-6 レイヤの分類方法

各々の種別ファイルの図面オブジェクトを内容別に次の 9 項目に分類する。

図面オブジェクト			記 載 内 容
1	図 枠	TTL (<u>T</u> i <u>T</u> L <u>e</u>)	外枠、表題欄、罫線、文字、縦断図の帯枠
2	背 景	BGD (<u>B</u> ack <u>G</u> round <u>D</u> rawing)	主計曲線、現況地物、既設構造物 等
3	基 準	BMK (<u>B</u> ench <u>M</u> ar <u>K</u>)	基準点、測量ポイント、中心線、幅杭 等
4	主構造物	STR (<u>S</u> T <u>R</u> ucture)	当該図面名称であらわす構造物
5	副構造物	BYP (<u>B</u> Y <u>P</u> roduct)	主構造から派生する構造物
6	材 料 表	MTR (<u>M</u> a <u>T</u> e <u>R</u> ial)	切盛土、コンクリート、鉄筋加工、 数量(購入品、規格 等)
7	説明、着色	DCR (<u>D</u> e <u>C</u> o <u>R</u> ation)	ハッチ、シンボル、塗りつぶし、記号 等
8	文章	DOC (<u>D</u> O <u>C</u> ument)	文章領域(説明事項、指示事項、参照事項、位置図)
9	測量	SUV (<u>S</u> U <u>R</u> v <u>e</u> y)	地形図等の測量成果データであり改変しないデータ

【解説】

図面分類別に、図面に標準的に描画すべき図面オブジェクトを、表 1-4 に示す。

表1-4 ファイル種別と図面オブジェクト項目の組み合わせ

ファイル種別 図面オブジェクト			【1 種】案内図 工事箇所的位置 を示す図面	【2 種】説明図 縦横断面図等全体 を示す図面	【3 種】構造図 個別の構造物を 示す図面	【4 種】詳細図 数量算定の根拠 となる図面
1	図 枠	TTL	○	○	○	○
2	背 景	BGD	○	○	△	—
3	基 準	BMK	○	○	○	△
4	主構造物	STR	○	○	○	○
5	副構造物	BYP	—	△	△	△
6	材 料 表	MTR	—	—	△	△
7	説明、着色	DCR	△	△	△	△
8	文章	DOC	△	△	△	△
9	測量	SUV	○	△	—	—

注) ○:必ず描画、△:描画は任意、—:描画しない

1-5-7 色

CAD データ作成に用いる色は、原則として黒、赤、緑、青、黄色、マゼンタ、シアン、白、牡丹、茶、橙、薄緑、明青、青紫、明灰及び暗灰の 16 色とする。

【解説】

本基準（案）では、背景色は黒色とするものとし、作図要素ごとの線色は、「3 レイヤー覧」に従うものとする。

線色は、下表に示す 16 色を原則とする。

なお、紙出力の際など、これにより難しい場合は、関係者間で協議の上、変更できる。

本基準（案）では、1 レイヤ 1 線色を想定して、「3 レイヤー覧」に線色の参考例を示しているが、1 レイヤ複数色を使用することも可能とする。

表 1-5 線色に対応する RGB 値（参考値）

色名	R	G	B
黒	0	0	0
赤	255	0	0
緑	0	255	0
青	0	0	255
黄色	255	255	0
マゼンタ	255	0	255
シアン	0	255	255
白	255	255	255
牡丹	192	0	128
茶	192	128	64
橙	255	128	0
薄緑	128	192	128
明青	0	128	255
青紫	128	64	255
明灰	192	192	192
暗灰	128	128	128

SXF では、表 1-5 にある 16 色が既定義色として定められている。なお、RGB 値の値は参考値であり、JIS やその他の規格に準拠する事を妨げるものではない。

1-5-8 線

- 線種は、実線、破線、一点鎖線、二点鎖線の線種グループがあり、JIS Z8312:1999「製図—表示の一般原則—線の基本原則」に定義されている 15 種類の線種を使用することを原則とする。
- JIS Z8312:1999「製図—表示の一般原則—線の基本原則」に定義されている線の種類は、次に示す 15 種類である。

線形 番号	線の基本形（線形）	呼び方	[対応英語（参考）]
01		実線	[continuous line]
02		破線	[dashed line]
03		跳び破線	[dashed spaced line]
04		一点長鎖線	[long dashed dotted line]
05		二点長鎖線	[long dashed double-dotted line]
06		三点長鎖線	[long dashed triplicate-dotted line]
07		点線	[dotted line]
08		一点鎖線	[long dashed short dashed line]
09		二点鎖線	[long dashed double-short dashed line]
10		一点短鎖線	[dashed dotted line]
11		一点二短鎖線	[double-dashed dotted line]
12		二点短鎖線	[dashed double-dotted line]
13		二点二短鎖線	[double-dashed double dotted line]
14		三点短鎖線	[dashed triplicate-dotted line]
15		三点二短鎖線	[double-dashed triplicate-dotted line]

- 線の太さは、細線、太線、極太線の 3 種類を使用し、比率は細線:太線:極太線 = 1:2:4 を原則とする。ただし、寸法線、引出線及び輪郭線はこの限りではない。
- 寸法線や引出線の線種は実線とし、線の太さは 0.13mm を原則とする。
- 輪郭線の線種は実践とし、線の太さは 1.4mm を原則とする。
- 線の太さは、図面の大きさや種類により 0.13mm、0.18mm、0.25mm、0.35mm、0.5mm、0.7mm、1mm、1.4mm、2mm の中から選択する。

【解説】

(1) 線種

図面では、構造物の 3 次元形状をできるだけ分かりやすく表現し、関係者間で共通認識が得られるように、線の種類を決めて使い分ける必要がある。線種が不足する場合は、点線、一点二短鎖線、三点短鎖線及び三点二短鎖線を使用するなど、工種ごとに弾力的に運用してよい。

線の主な用法は表 1-6 を参考とする。

表 1-6 線種と主な用法

線種グループ	線形番号※	主な用法
実線	01	可視部分を示す線、寸法及び寸法補助線、引出線、破断線、輪郭線、中心線
破線	02、03	見えない部分の形を示す線
一点鎖線	04、08、10	中心線、切断線、基準線、境界線、参考線
二点鎖線	05、09、12	想像線、基準線、境界線、参考線などで一点鎖線と区別する必要があるとき

※線形番号は、に示す線形番号である。

本基準（案）では、1 レイヤ 1 線種を想定して、「3 レイヤー一覧」に線種の参考例を示しているが、1 レイヤ複数線種を使用することも可能とする。

(2) 太さ

図面に使用する線の太さは、図面の視認性を考慮する。線の太さは細線、太線、極太線の 3 種類とし、その比率を 1:2:4 とするが、寸法線や引出線の太さは 0.13mm、輪郭線の太さは 1.4mm を原則とするため、これらの各線は 1:2:4 の比率とは異なる。

線の太さは、図面の大きさや種類により 0.13mm、0.18mm、0.25mm、0.35mm、0.5mm、0.7mm、1mm、1.4mm 又は 2mm の中から選択するが、これらの数値は、CAD データを紙に出力する場合の規定値である。実際に出図される線の太さは出力装置により異なるため、近似値としてよい。

線の太さの組み合わせを表 1-7 に示す。

表 1-7 線の太さの組み合わせ

線グループ	細線	太線	極太線
0.25mm	0.13mm	0.25mm	0.5mm
0.35mm	0.18mm	0.35mm	0.7mm
0.5mm	0.25mm	0.5mm	1.0mm
0.7mm	0.35mm	0.7mm	1.4mm
1.0mm	0.5mm	1.0mm	2.0mm

CAD 画面上での線の太さは、CAD ソフトウェアによっては線の太さを表示する機能を持たないものがあり、また、太さ表示機能を持つ CAD ソフトウェアにおいても画面表示時の拡大縮小程度によっては必ずしも太さの違いが認識できない場合があるので、線の太さについては用紙に出力した場合を対象としている。

1-5-9 文字

1. 文字は、JIS Z 8313:1998「製図－文字」に基づくことを原則とする。
2. 文字の高さは、1.8mm、2.5mm、3.5mm、5mm、7mm、10mm、14mm 又は 20mm から選択することを原則とする。
3. CAD で使用できる文字は、JIS X0201:1997 で規定されている文字から片仮名用図形文字を除いた文字と JIS X0208:1997 で規定されている文字とする。
4. 漢字は常用漢字、かなは平仮名を原則とする。ただし、外来語は片仮名とする。
5. CAD で縦書きをする場合は、文字列として入力するとともに、全角文字を用いることを原則とする。
6. 機械・電気設備工事（建築附帯を含む。）における機器及び材料の寸法、形状、品質、性能等の単位は、原則として計量法（平成 4 年法律第 51 号）に定める国際単位系の計量単位を用い、これにより難い場合は同法に定めるその他の計量単位を用いる。
また、水質等に係る生物学的、化学的な計量単位で計量法に定めのないものは、設計図書に掲げる計量単位を用いる。

【解説】

(1) 文字の高さ

CAD データを作図する場合は、原則として 1.8mm、2.5mm、3.5mm、5mm、7mm、10mm、14mm 又は 20mm から選択する。

検査や施工図等で、A1 判で紙出力する際には、表題欄や引出し線に使用する文字は、3.5mm、5mm 又は 7mm を図面内に使用するタイトルなどは 14mm 又は 20mm とするなど A3 判など縮小版で紙出力した場合でも読みやすいサイズを使用するよう留意する。

(2) 使用できる文字

CAD で文字を書く場合は、CAD ソフトの機能とフォントに依存するため、CAD ソフトウェア固有の文字は使用せず、アウトラインフォント又は製図に用いる文字に類似した文字を使用する。

CAD ソフトウェアでは文字データが文字コードで扱われるため、異なる組織で図面データを交換するときは JIS X0208 に定義されていない文字は使用しない。

また、JIS に定義されている文字であっても、総画数が非常に多いものや、一般文書で 사용되는ことの少ない漢字は、特に必要がないかぎり使用せず、別表現に代えるか仮名書きを使用することが望ましい。

1-5-10 図形及び寸法の表し方

1. 図形及び寸法の表し方は、JIS Z 8316 : 1999「製図－図形の表し方の原則」に準ずる。
2. 寸法の記入方法は、JIS Z 8317 : 1999「製図－寸法記入方法－一般原則、定義、記入方法及び特殊な指示方法」及び JIS Z 8318 : 1998「製図－長さ寸法及び角度寸法の許容限界記入方法」に準ずる。また、引出線を用いて寸法値を記入する場合は、JIS Z 8322 : 2003「引出線及び参照線の基本事項と適用」に準ずる。
3. 上記に加え、機械・電気設備工事（建築附帯も含む）における機器及び材料の寸法、形状、品質、性能等の表示方法及び製図の表記方法等は、原則として工業標準化法（昭和24年法律第185号）に基づく日本工業規格（JIS規格）によるものとする。
ただしシンボルについては、日本工業規格（JIS規格）及び関連する団体の規格及び基準類によるものとする。

【解説】

図形や寸法の記入方法は、JISにより国内標準が定められている。図形や寸法はできるだけ簡潔に表現して重複を避ける。その配置、線の太さ、文字の寸法などに十分注意を払い、分かりやすく描く。

(1) 図形の表し方

CAD 製図においてよく使われる図示記号類については、シンボル機能（CAD ソフトウェアによっては部品機能と呼ばれる）を使って作図することが望ましい。

(2) 寸法の表し方

CAD ソフトウェアでは、寸法を入力するための専用の機能を持つものが多い。図面修正時の省力化等を意図として、寸法図形の補助線を動かすことで寸法数値が更新される機能等がこれに該当する。CAD データを作図する場合は、これらの機能を使用することを原則とする。

SXF では JIS にある 7 種類の寸法、引出線のうち図 1-8 の要素を定義している。対象物とその寸法値を正確に受け渡すためにも、対象物の種類を合わせた寸法又は引出線を使用する。

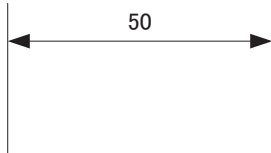
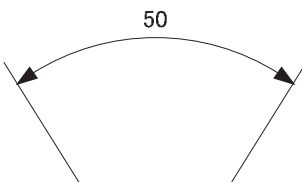
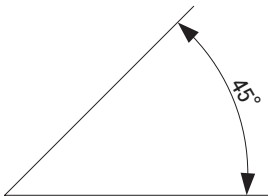
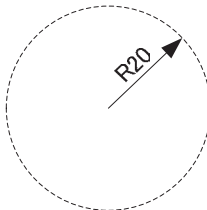
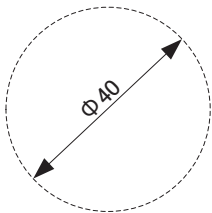
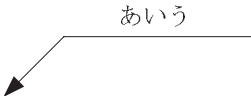
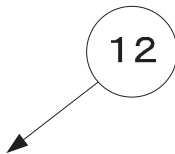
直線寸法 直線に対する寸法値を与える場合に使用する。 	弧長寸法 (SXF Ver.3.1 レベル 2 以上) 弧長に対する寸法値を与える場合に使用する。 
角度寸法 角度値を与える場合に使用する。 	半径寸法 半径値を与える場合に使用する。 
直径寸法 直径値を与える場合に使用する。 	引出線 特定箇所の数値や説明 (テキスト) 等を与える場合に使用する。 
引出線 (バルーン) 特定箇所の数値や説明 (テキスト) 等を与える場合に使用する。 	

図 1-8 SXF による寸法及び引出線の要素

1-5-11 部分図の利用（座標系）

部分図を利用する場合は、部分図座標系に実寸で定義し、用紙に配置することを原則とする。これにより難しい場合は、図面の尺度を基準として作ってもよい。

ただし、図面の輪郭や表題欄等対象物の座標系と関係ないものは、用紙座標系に直接配置することが望ましい。

【解説】

部分図とは、複数の図形を 1 つの集合として取り扱い、用紙に配置する機能である。実寸で定義された図形に尺度と回転角を与えて任意の位置に配置できる。尺度が異なる複数の構造物を 1 枚の用紙に描く場合や、縦と横の尺度が異なる縦断図を描く場合にも利用できる。

SXF 仕様で定義される座標系は、図 1-9 のように用紙に基づいた用紙座標系と、対象物に基づいた部分図座標系に大別される。

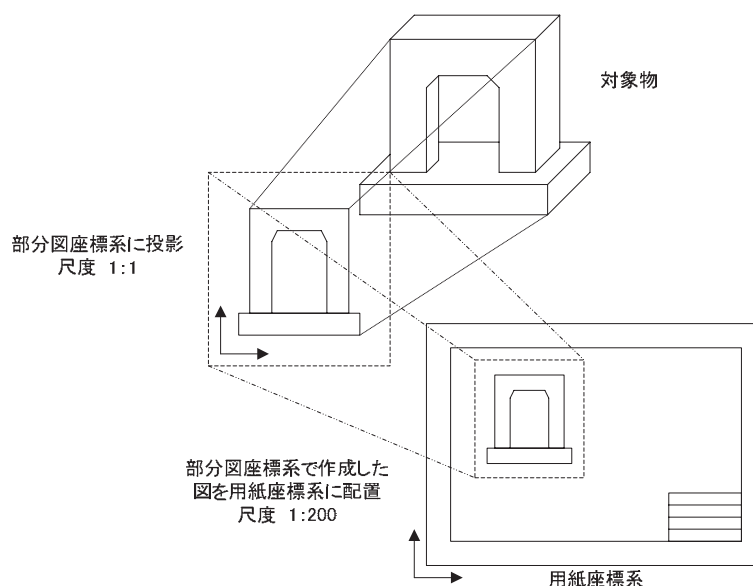


図 1-9 用紙座標系と部分座標系の関係

さらに部分図座標系には、通常の数学座標系（XY 直交座標系）のほか、地形を平面図として表す場合等に使用される測量座標系（平面直角座標系：測量法により定められた基本測量や公共測量に使われる）がある。

1-6 成果品

1-6-1 CAD データに関する成果品ならびにフォルダ構成、図面管理項目等

CAD データに関する成果品ならびにフォルダ構成、図面管理項目等は、国土交通省が定める CAD 製図基準（案）に準拠する。

【解説】

CAD データに関する成果品ならびにフォルダ構成、図面管理項目等は、基本的に国土交通省が定める CAD 製図基準（案）に準拠する。なお、「上水道施設に係わる CAD 製図基準（案）運用ガイドライン（案）」に水道事業における運用について示したので参考にされたい。

1-6-2 著作権法上の留意点

CAD データ作成において、利用する部分データ等が著作権法上の保護を受けている場合があるので、取扱いについては留意する。

【解説】

一般に、地図や設計図面は、著作権法上の定義として、「地図又は学術的な性質を有する図面、図表、模型その他の図形の著作物」に該当すると考えられる。

ところが、CAD データを作成する上では、地図データ、写真を含む画像データ、CAD 部品データ等の第三者により提供される各種データを利用する場合がある。そのデータが著作物として著作権法上の保護を受けている場合が想定されるので、その利用については留意する必要がある。

(1) CAD による部品データ等の利用

CAD データ作成においては、各種部品データを利用することで、効率的な設計を行うことが可能であるが、そうしたデータの中には著作権法上、保護されるデータが混在している場合がある。これらの部品データ等の利用にあたっては、後工程で問題が生じないよう関係者間協議を行うなどして、著作権法上の課題を解決するように留意する。

(2) 位置図等での市販地図などの利用について

これまでの紙図面において、位置図に国土地理院発行の地形図や管内図等を基図として利用することが多かった。その利用法としては、地形図の必要部分だけを切り取り、図面の中に貼り込むという行為を行うことで、地形図等に関する著作権への対応としてきた。

ところが、CAD を用いた位置図等の作成においては、地形図等を電子化する必要があり、その過程で著作権法上の課題（複製）が生じることが予想される。このため、市販地図などをデータとして利用する場合は、著作権法上の課題を解決するような配慮を行う必要がある。

1-7 測量データに関する取扱い

公共測量作業規程の大縮尺地形図図式に則った地形図等を図面の背景図として利用する場合は、同図式による線種、線幅、線色、フォント等の記載内容を変更せずに利用する。測量に関するデータは、レイヤの図面オブジェクト（2 階層目）の SUV レイヤを利用して作図する。

【解説】

公共測量作業規程に定められた大縮尺地形図図式に則った地形図内に、本基準（案）に則されない記載が含まれる場合がある。このため、同図式による地形図については、本基準（案）の対象外と定めている。従って、地形図の図式などの記載内容が本基準（案）に合致しないとしても、例外として取り扱うものとしている。

2 図面種類一覧

2-1 水道管路

ファイル名						適 用 レイヤ NO.	
ライフ サイクル	整理 番号	図面 種類	図面 番号	改訂 履歴	拡張 子		図 面 名
S	0 (8) ※	KM	001 ～ 999	0～9 A～Z	p21	一般平面図	P1
		PN				管路図	P1
PL		平面図				P2	
PF		縦断図				P3	
CS		横断図				P4	
AP		付帯施設構造図				P5	
PI		管割図				P6	
TP		仮設図				P7	
※※		その他					

※：括弧書きは基本設計の場合を示す。但し、図面内容により上記以外の図面種類・レイヤを適用してもよい。

※※：図面管理ファイル（国交省ファイル）（DRAWING.xml）の追加図面種類、新規レイヤに入力する。

追加図面種類の略語（半角英数字 2 文字）は同一工種内で重複は認められないため留意する。

2-2 土木

ファイル名						図 面 名	備 考	適 用 レイヤ NO.
ライフ サイクル	整理 番号	図面 種類	図面 番号	改訂 履歴	拡張 子			
S D C M	1 (8) ※	PL	001 ～ 999	0～9 A～Z	p21	一般平面図	general PLan	C1
		HP				水位関係図	Hydraulic Profile	C2
		LC				案内図	LoCation	C3
		VS				構造図・平面図	View of super Structure	C4
						構造図・縦横断面図		
		VF				構造図・基礎伏図	View of Foundation	C5
		RB				配筋図	Reinforcing Bar	C6
		DS				取合い図	Detail of Structure	C7
		BX				箱抜き参考図	BoX-out	C8
		PS				場内配管図	Pipe Structure	C9
		DR				場内排水図・入孔・枳 図	DRainage facilities	C10
		RF				場内道路・門・さく・ 堀	Road and Fence	
		PR				場内整備図	PRemises facilities	
		DP				その他詳細図	Detailed Plan	C11
		EW				土工図	Earth Work	C12
		TS				仮設図	Temporally Structure	C13
		※※				その他	※※	

※：括弧書きは基本設計の場合を示す。但し、図面内容により上記以外の図面種類・レイヤを適用してもよい。

※※：図面管理ファイル（国交省ファイル）（DRAWING.xml）の追加図面種類、新規レイヤに入力する。

追加図面種類の略語（半角英数字 2 文字）は同一工種内で重複は認められないため留意する。

2-3 建築

ファイル名						図 面 名	備 考	適 用 レイヤ NO.
ライフ サイクル	整理 番号	図面 種類	図面 番号	改訂 履歴	拡張 子			
S D C M	2 ・ (8) ※	SP	001 ～ 999	0 ～ 9 A ～ Z	p21	特記仕様書	SPecifications	A1
						工事範囲一覧表		
						法規チェックリスト		
		LC				案内図	LoCation	A2
		LA				配置図	LAyout plan	A3
		AC				求積図	Area Calculation	A4
		FL				平面図	FLoor plan	A5
		EL				立面図	ELevation plan	A6
		SE				断面図	SEction plan	A7
		SD				矩形図	Sectional Detail drawing	A8
		DP				詳細図	Detail of Plan	A9
		RB				配筋詳細図	Reinforcing Bar	A10
		BX				箱抜参考図	BoX-out	A11
		SK				伏図	Skelton	A12
						軸組図		
		RB				断面リスト	Reinforcing Bar	A10
						ラーメン図		
		NT				展開図	iNTerior elevation	A13
		CE				天井伏図	reflected CEiling plan	A14
		FX				建具図	FiXture plan	A15
		VF				基礎伏図	View of Foundation	A16
		EW				その他土工図	Earth Work	A17
		TS				その他仮設図	Temporally Structure	A18
		FN				その他[仕上表]	schedule of FiNish	A1
		※※				その他[上記以外]	※※	

※：括弧書きは基本設計の場合を示す。但し、図面内容により上記以外の図面種類・レイヤを適用してもよい。

※※：図面管理ファイル（国交省ファイル）（DRAWING.xml）の追加図面種類、新規レイヤに入力する。

追加図面種類の略語（半角英数字 2 文字）は同一工種内で重複は認められないため留意する。

2-4 建築機械設備

ファイル名						図 面 名	備 考	適 用 レイヤ NO.
ライフ サイクル	整理 番号	図面 種類	図面 番号	改訂 履歴	拡張 子			
S D C M	3 (8) ※	SP	001 ～ 999	0 ～ 9 A ～ Z	p21	特記仕様書	SPecifications	AM1
		LA				配置図	LAyout plan	AM2
		SD				系統図	Systematic Diagram	AM3
		PA				屋外配管図	Piping Assembly drawing	AM4
		FL				各階配管図及び風道 平面図	FLoor plan	
		AC				自動制御用配管配線 平面図	Automatic Control	
		※※				その他[上記以外]	※※	

※：括弧書きは基本設計の場合を示す。但し、図面内容により上記以外の図面種類・レイヤを適用してもよい。

※※：図面管理ファイル（国交省ファイル）（DRAWING.xml）の追加図面種類、新規レイヤに入力する。

追加図面種類の略語（半角英数字 2 文字）は同一工種内で重複は認められないため留意する。

2-5 建築電気設備

ファイル名						図面名	備考	適 用 レイヤ NO.
ライフ サイクル	整理 番号	図面 種類	図面 番号	改訂 履歴	拡張 子			
S D C M	4 (8) ※	SP	001 ～ 999	0 ～ 9 A ～ Z	p21	特記仕様書	SPecifications	AE1
		PR				構内図	PRemises diagram	AE2
		SD				系統図	Systematic Diagram	AE3
		CD				盤結線図	wiring Connection Diagram	AE4
		CR				各階平面図（各階配線 図）	floor Cable Root drawing	AE2
		※※				その他	※※	

※：括弧書きは基本設計の場合を示す。但し、図面内容により上記以外の図面種類・レイヤを適用してもよい。

※※：図面管理ファイル（国交省ファイル）（DRAWING.xml）の追加図面種類、新規レイヤに入力する。

追加図面種類の略語（半角英数字 2 文字）は同一工種内で重複は認められないため留意する。

2-6 機械設備

ファイル名						図 面 名	備 考	適 用 レイヤ NO.
ライフ サイクル	整理 番号	図面 種類	図面 番号	改訂 履歴	拡張 子			
S D C M	5 (8) ※	PL	001 ～ 999	0 ～ 9 A ～ Z	p21	全体平面図	general PAn	M1
		FA				配置平面図	Facilities Arrangement drawing	M2
		FS				配置断面図	Facilities Section drawing	
		FD				フローシート	Flow Diagram	M3
		HP				水位関係図	Hydraulic Profile	M4
		PA				その他[配管図]	Piping Assembly drawing	M2
		※※				その他[上記以外]	※※	

※：括弧書きは基本設計の場合を示す。但し、図面内容により上記以外の図面種類・レイヤを適用してもよい。

※※：図面管理ファイル（国交省ファイル）（DRAWING.xml）の追加図面種類、新規レイヤに入力する。

追加図面種類の略語（半角英数字 2 文字）は同一工種内で重複は認められないため留意する。

なお、機械設備工事の追加図面種類の略図として、ED 及び SD は使用してはならない

2-7 電気設備

ファイル名						図 面 名	備 考	適 用 レイヤ NO.
ライフ サイクル	整理 番号	図面 種類	図面 番号	改訂 履歴	拡張 子			
S D C M	6 (8) ※	GA	001 ～ 999	0 ～ 9 A ～ Z	p21	全体配置図	General Arrangement drawing	E1
		CD				単線結線図（受変電）	wiring Connection	E2
						単線結線図（C／C）	Diagram	
		EC				主要配管・配線系統図	Electrical Conduit drawing	E3
		GR				接地系統図	GRound diagram	E4
		FS				計装フローシート	instrumentation Flow Sheet	E5
		SD				システム構成図	System Diagram	E6
		FA				機器配置平面図（電気室）	Facilities Arrangement drawing	E1
						機器配置平面図（監視制御室）		
						機器配置平面図（発電機室）		
		EQ				その他[主要機器外形（寸法）図]	electrical Equipment detail	E7
		CP				その他[配線・配管布設図]	Cable and Piping route drawing	E8
		※※				その他[上記以外]	※※	

※：括弧書きは基本設計の場合を示す。但し、図面内容により上記以外の図面種類・レイヤを適用してもよい。

※※：図面管理ファイル（国交省ファイル）（DRAWING.xml）の追加図面種類、新規レイヤに入力する。

追加図面種類の略語（半角英数字 2 文字）は同一工種内で重複は認められないため留意する。

なお、電気設備工事の追加図面種類の略図として、ED 及び SD は使用してはならない。

3 レイヤー一覧

レイヤー一覧の適用上の留意事項

- ・作図要素の数値区分については、水道管路以外の異なる図面種類間でのレイヤーの活用などを考慮して、複数のレイヤー間で統一を図っている。そのため、一つのレイヤーの一つの図面オブジェクトにおいて、作図要素の数値区分が連続していない部分がある。
- ・原則、各レイヤーの作図要素について、レイヤー名、線色及び線種は、本レイヤー一覧による。
- ・本レイヤー一覧に含まれない作図要素を用いる場合は、1-5-5レイヤーの名称に従ってレイヤー名を定め、図面管理ファイル（DRAWING.xml）の新規レイヤーに入力しなければならない。

3-1 水道管路

レイヤ NO. (適用図面名)		P1 (一般平面図、管路図)			
責任 主体	図面オブジェ クト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		輪郭線	青	実線
		-FRAM	タイトル枠, 凡例図枠	橙	
		-LINE	区切り線, 罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BGD		現況地物	白	実線
		-RSTR	ラスタ化された地図	—	
		-EXS	公道・私道外形線, 都市区町境界線等	暗灰	
		-EXST	特に明示すべき現況地物	暗灰	
		-HICN	等高線の計曲線	赤	
		-LWCN	等高線の主曲線	白	
		-TXT	住所, 地番, 道路名, 河川名, 建物名, 橋梁名等	暗灰	
		-HTXT	旗上げ	白	
	-BMK		基準線	黄	実線
		-SRVR	基準となる点 (座標, 測量ポイント)	緑	
		-BOR	水準点, 方位	黄	
		-ROW	用地境界線 (幅杭)	橙	
		-HIXT	旗上げ	白	
	-STR (主構造物)	-STR1	水道管 (既設)	シアン	破線
		-STR2	水道管 (実施)	緑	実線
		-STR3	水道管 (計画)	薄緑	一点鎖線
		-TXTn	引出し線, 路線番号・距離, 形状, 寸法等	白	実線
		-HTXTn	主構造物 n 旗上げ	白	
		-DIMn	構造物 n の寸法, 寸法値	白	
	-BYP (副構造物)	-STR1	付属施設 (既設)	シアン	実線
		-STR2	付属施設 (実施)	緑	
		-STR3	付属施設 (計画)	薄緑	
		-TXTn	副構造物 n の文字列, 引出し	白	
		-HTXTn	副構造物 n 旗上げ	白	
		-DIMn	副構造物 n の寸法, 寸法値	白	
	-MTR (材料表)	-STR	平面線形情報, 管種, 土工区分, 施工区分, 施工方法, 埋戻方法, 舗装種別, 延長 (線, 文字を含む)	白	実線
	-DCR (説明・脚色)	-DCR	説明, 着色	—	任意
		-HCH	ハッチ部 (位置)	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		P2 (平面図)			
責任 主体	図面オブジェ クト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		輪郭線	青	実線
		-FRAM	タイトル枠, 凡例図枠	橙	
		-LINE	区切り線, 罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BGD		現況地物	暗灰	実線
		-CRST1	電話線(文字と引出し線を有するものを含む)	赤	任意
		-CRST2	水道管(文字と引出し線を有するものを含む)	シアン	
		-CRST3	下水管(文字と引出し線を有するものを含む)	牡丹	
		-CRST4	ガス管(文字と引出し線を有するものを含む)	緑	
		-CRST5	電力線(文字と旗上げを含む)	橙	
		-CRST6	光ファイバーケーブル(文字と引出し線を有するものを含む)	橙	
		-CRST7	共同溝(文字と引出し線を有するものを含む)	暗灰	
		-CRSn	他企業埋設物等	任意	
		-RSTR	ラスタ化された地図	—	実線
		-EXST	特に明示すべき現況地物	暗灰	
		-EXS	公道・私道・建物外形線, 都市区町境界線等	暗灰	
		-BRG	ボーリング位置図	茶	
		-TXT	住所, 地番, 道路名, 河川名, 建物名, 橋梁名等	暗灰	
		-HICN	等高線の計曲線	赤	
		-LWCN	等高線の主曲線	白	
		-HTXT	旗上げ	白	
	-BMK		基準線	黄	実線
		-SRVR	基準となる点(測量ポイント)	緑	
		-BOR1	管理図メッシュ	白	
		-BOR2	水準点, 方位, 現況地盤高(文字を含む)	黄	
		-ROW	用地境界線(幅杭)	橙	
		-HTXT	旗上げ	白	
	-STR (主構造物)	-STR1	水道管(既設)	シアン	破線
		-STR2	水道管(実施)	緑	実線
		-STR3	水道管(計画)	薄緑	一点鎖線
		-STR8	堀削断面(仮復旧まで)	緑	実線
		-STR9	堀削断面(本復旧)	緑	実線
		-TXTn	管種, 管径, 深さ, 路線番号・距離, 形状, 寸法, 勾配, オフセット等	白	実線
		-HTXTn	主構造物 n 旗上げ	白	
		-DIMn	構造物 n の寸法, 寸法値	白	
	-BYP (副構造物)	-STR1	付属施設(既設)	シアン	破線
		-STR2	付属施設(実施)	緑	実線
		-STR3	付属施設(計画)	薄緑	一点鎖線
		-STR7	仮設構造物	緑	実線
		-TXTn	副構造物 n の文字列	白	
		-HTXTn	副構造物 n 旗上げ	白	実線
		-DIMn	副構造物 n の寸法, 寸法値	白	
	-MTR	-STR	管種, 土工区分, 施工区分, 施工方法, 埋戻方法, 舗装種別, 延長(線, 文字を含む)	白	実線
		-FRAM	材料表図枠	白	
		-TXT	文字列	白	
	-DCR (説明・脚色)	-DCR	説明, 着色	—	任意
		-HCH	ハッチ部(位置)	任意	

【解説】

地形図には等高線を記入することを標準とするが、作図上支障が出てくる場合には道路上に標高を記入し地形のイメージを明確化する。

その他、平面図は設計路線の相互関係が分かるように独立して作成することが望ましいが、配管図等で明示できる場合には当該路線の縦断図と同一図面で作成しても良い。

地形図記載する埋設物情報等は所定のレイヤ（現況地物・BGD 参照）を用いて地図情報とは区別する。

平面図に記載する管路については単線で記載することを標準とする。

管路の種類については略号を用いても良い。この場合には凡例等で記載することを標準とする。

ここでの主構造物とは管路のことで、記号等を用いることがある。

レイヤ NO. (適用図面名)		P3 (縦断面)			
責任 主体	図面オブジェ クト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		輪郭線	青	実線
		-FRAM	タイトル枠, 凡例図枠	橙	
		-LINE	区切り線, 罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BGD		現況地物	暗灰	実線
		-CRST1	電話線(文字と引出し線を有するものを含む)	赤	任意
		-CRST2	水道管(文字と引出し線を有するものを含む)	シアン	
		-CRST3	下水管(文字と引出し線を有するものを含む)	牡丹	
		-CRST4	ガス管(文字と引出し線を有するものを含む)	緑	
		-CRST5	電力線(文字と旗上げを含む)	橙	
		-CRST6	光ファイバーケーブル(文字と引出し線を有するものを含む)	橙	
		-CRST7	共同溝(文字と引出し線を有するものを含む)	暗灰	
		-CRSn	他企業埋設物等	任意	
		-TXT	住所, 地番, 道路名, 河川名, 建物名, 橋梁名等	暗灰	実線
		-BRG	ボーリング位置図	茶	
		-BRG1	ボーリング柱状図	茶	
		-HTXT	旗上げ	白	
	-BMK		基準線	黄	実線
		-SRVR	基準となる点(測量ポイント)	緑	
		-BOR3	現況地盤高線	白	
		-BOR4	計画地盤高線等	黄	一点鎖線
		-HTXT	旗上げ	白	実線
	-STR (主構造物)	-STR1	水道管(既設)	シアン	破線
		-STR2	水道管(実施)	緑	実線
		-STR3	水道管(計画)	薄緑	一点鎖線
		-STR8	堀削断面(仮復旧まで)	緑	実線
		-STR9	堀削断面(本復旧)	緑	実線
		-TXTn	種別, 寸法, 深さ, 帯部の測点, 測点間距離等, 現況地盤高, 計画地盤高, 区間番号・距離, 形状, 土被り, 管底高等	白	実線
		-HTXTn	主構造物 n 旗上げ	白	
		-DIMn	構造物 n の寸法, 寸法値	白	
	-BYP (副構造物)	-STR1	付属施設(既設)	シアン	破線
		-STR2	付属施設(実施)	緑	実線
		-STR3	付属施設(計画)	薄緑	一点鎖線
		-STR7	仮設構造物	緑	実線
		-TXTn	副構造物 n の文字列, 引出し	白	
		-HTXTn	副構造物 n 旗上げ	白	
		-DIMn	副構造物 n の寸法, 寸法値	白	
	-MTR	-STR	管種, 土工区分, 施工区分, 施工方法, 埋戻方法, 舗装種別, 延長(線, 文字を含む)	白	実線
		-FRAM	材料表図枠	白	
		-TXT	文字列	白	
	-DCR (説明・脚色)	-DCR	説明, 着色	—	任意
		-HCH	ハッチ部(位置)	任意	

【解説】

製図において上記以外に注意する事項としては、次の項目がある。

- (1) 起点を左に、終点を右にすることを原則とする。
- (2) 平面図と縦断図を併記する場合は、上段に平面図、下段に縦断図を作図する。
- (3) 帯部は以下の項目を記載する。

管路勾配、路線距離、現況地盤高、計画地盤高、土被り、管中心高、追加距離、測点間距離、測点番号

- (4) 製図領域部は以下の項目を記載する。

現況地盤高、計画地盤高、管路、旗上げ（管径、管種、寸法）、既計画水道管、既設水道管、実施水道管、地中埋設物の位置とこれに関連する情報（電話線、電力線、光ファイバーケーブル線、ガス管、下水道管等の位置、形状、寸法等）、平面線形（平面曲線の位置及び延長、屈曲部における曲線の起終点・半径）、工事に関する情報（施工区分、基礎方法、埋め戻し方法、道路復旧方式、管種、施工条件等）

なお、当該管路との接続がない水道管（他事業体の水道管、対象管路が工業用水道の場合における上水道管、対象管路が上水道の場合における工業用水道等）は、その図面オブジェクトは背景（-BGD）として取扱う。

- (5) ここでの主構造物とは管路のことで、記号等を用いることがある。

レイヤ NO. (適用図面名)		P4 (横断面)			
責任 主体	図面オブジェ クト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		輪郭線	青	実線
		-FRAM	タイトル枠, 凡例図枠	橙	
		-LINE	区切り線, 罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BGD		現況地物	暗灰	実線
		-CRST1	電話線(文字と引出し線を有するものを含む)	赤	任意
		-CRST2	水道管(文字と引出し線を有するものを含む)	シアン	
		-CRST3	下水管(文字と引出し線を有するものを含む)	牡丹	
		-CRST4	ガス管(文字と引出し線を有するものを含む)	緑	
		-CRST5	電力線(文字と旗上げを含む)	橙	
		-CRST6	光ファイバーケーブル(文字と引出し線を有するものを含む)	橙	
		-CRST7	共同溝(文字と引出し線を有するものを含む)	暗灰	
		-CRSn	他企業埋設物等	任意	
		-TXT	道路名, 河川名, 建物名, 橋梁名等	暗灰	実線
		-BRG	ボーリング位置図	茶	
		-BRG1	ボーリング柱状図	茶	
		-HTXT	旗上げ	白	
	-BMK		基準線	黄	実線
		-SRVR	基準となる点(測量ポイント)	緑	
		-BOR3	現況地盤高線	白	
		-BOR4	計画地盤高線等	黄	一点鎖線
		-HTXT	旗上げ	白	実線
	-STR (主構造物)	-STR1	水道管(既設)	シアン	破線
		-STR2	水道管(実施)	緑	実線
		-STR3	水道管(計画)	薄緑	一点鎖線
		-STR8	堀削断面(仮復旧まで)	緑	実線
		-STR9	堀削断面(本復旧)	緑	実線
		-TXTn	種別, 寸法, 深さ, 帯部の測点, 測点間距離等, 現況地盤高, 計画地盤高, 区間番号・距離, 形状, 土被り, 管底高等	白	実線
		-HTXTn	主構造物 n 旗上げ	白	
		-DIMn	構造物 n の寸法, 寸法値	白	
	-BYP (副構造物)	-STR1	付属施設(既設)	シアン	破線
		-STR2	付属施設(実施)	緑	実線
		-STR3	付属施設(計画)	薄緑	一点鎖線
		-STR7	仮設構造物	緑	実線
		-TXTn	副構造物 n の文字列, 引出し	白	
		-HTXTn	副構造物 n 旗上げ	白	
		-DIMn	副構造物 n の寸法, 寸法値	白	
	-MTR	-STR	管種, 土工区分, 施工区分, 施工方法, 埋戻方法, 舗装種別, 延長(線, 文字を含む)	白	実線
		-FRAM	材料表図枠	白	
		-TXT	文字列	白	
	-DCR (説明・脚色)	-DCR	説明, 着色	—	任意
		-HCH	ハッチ部(位置)	任意	

【解説】

横断面図は、道路内における地下埋設物及び管路が布設される位置の概略を示すものである。このため、一般的には標準断面図として道路の幅に対し、管路が占用する位置を示す図面を添付する。

ここでの主構造物とは管路のことで、記号等を用いることがある。

レイヤ NO. (適用図面名)		P5 (付帯施設構造物)			
責任 主体	図面オブジェ クト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		輪郭線	青	実線
		-FRAM	タイトル枠、凡例図枠	橙	
		-LINE	区切り線、罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BGD		現況地物、既設構造物等	暗灰	実線
		-CRST	主な横断構造物	白	
		-BRG	ボーリング柱状図	茶	
		-DIM	寸法線、寸法値	白	
		-TXT	文字列	白	
		-HTXT	旗上げ	白	
	-BMK		構造物基準線（中心線等）	赤	一点鎖線
		-HTXT	旗上げ	白	実線
	-STR (主構造物)	-STR4	付属施設（既設）	シアン	破線
		-STR5	付属施設（実施）	緑	実線
		-STR6	付属施設（計画）	薄緑	一点鎖線
		-TXTn	種別、寸法、深さ、帯部の測点、測点間距離等、現況地盤高、計画地盤高、区間番号・距離、形状、土被り、管底高等	白	実線
		-HTXTn	主構造物 n 旗上げ	白	
		-DIMn	構造物 n の寸法、寸法値	白	
	-BYP (副構造物)	-STR4	付属施設（既設）	シアン	破線
		-STR5	付属施設（実施）	緑	実線
		-STR6	付属施設（計画）	薄緑	一点鎖線
		-TXTn	副構造物 n の文字列、引出し	白	実線
		-HTXTn	副構造物 n 旗上げ	白	
		-DIMn	副構造物 n の寸法、寸法値	白	
	-MTR (材料表)	-STR	管種、土工区分、施工区分、施工方法、埋戻方法、舗装種別、延長（線、文字を含む）	白	実線
		-FRAM	材料表図枠	白	
		-TXT	文字列	白	
	-DCR (説明・脚色)	-DCR	説明、着色	—	任意
		-HCH	ハッチ部（位置）	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		P6 (管割図)			
責任 主体	図面オブジェ クト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		輪郭線	青	実線
		-FRAM	タイトル枠, 凡例図枠	橙	
		-LINE	区切り線, 罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BMK		管路中心線等	赤	一点鎖線
		-HTXT	旗上げ	白	実線
	-STR (主構造物)	-STR1	水道管 (既設)	シアン	破線
		-STR2	水道管 (実施)	緑	実線
		-STR3	水道管 (計画)	薄緑	一点鎖線
		-TXTn	種別, 寸法, 深さ, 帯部の測点, 測点間距離 等, 現況地盤高, 計画地盤高, 区間番号・距 離, 形状, 土被り, 管底高等	白	実線
		-HTXTn	主構造物 n 旗上げ	白	
		-DIMn	構造物 n の寸法, 寸法値	白	
	-BYP (副構造物)	-STR1	付属施設 (既設)	シアン	破線
		-STR2	付属施設 (実施)	緑	実線
		-STR3	付属施設 (計画)	薄緑	一点鎖線
		-TXTn	副構造物 n の文字列, 引出し	白	
		-HTXTn	副構造物 n 旗上げ	白	
		-DIMn	副構造物 n の寸法, 寸法値	白	
	-MTR (材料表)	-STR	管種, 土工区分, 施工区分, 施工方法, 埋戻 方法, 舗装種別, 延長 (線, 文字を含む)	白	実線
		-FRAM	材料表図枠	白	
		-TXT	文字列	白	
	-DCR (説明・脚色)	-DCR	説明, 着色	—	任意
		-HCH	ハッチ部 (位置)	任意	

【解説】

ここでの主構造物とは管路のことで、記号等を用いることがある。

レイヤ NO. (適用図面名)		P7 (仮設図)			
責任 主体	図面オブジェ クト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		輪郭線	青	実線
		-FRAM	タイトル枠, 凡例図枠	橙	
		-LINE	区切り線, 罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BGD		現況地物, 既設構造図等	暗灰	実線
		-CRST	主な横断構造物	白	
		-BRG	ボーリング柱状図	茶	
		-DIM	寸法線, 寸法値	白	
		-TXT	文字列	白	
		-HTXT	旗上げ	白	
	-BMK		構造物基準線 (中心線等)	赤	一点鎖線
		-HTXT	旗上げ	白	実線
	-STR (主構造物)	-STR7	仮設構造物	緑	実線
		-TXTn	種別, 寸法, 深さ, 帯部の測点, 測点間距離 等, 現況地盤高, 計画地盤高, 区間番号・距 離, 形状, 土被り, 管底高等	白	
		-HTXTn	主構造物 n 旗上げ	白	実線
		-DIMn	構造物 n の寸法, 寸法値	白	
	-BYP (副構造物)	-STR7	付属施設 (既設)	緑	
		-TXTn	副構造物 n の文字列, 引出し	白	
		-HTXTn	副構造物 n 旗上げ	白	
		-DIMn	副構造物 n の寸法, 寸法値	白	
	-MTR (材料表)	-STR	管種, 土工区分, 施工区分, 施工方法, 埋戻 方法, 舗装種別, 延長 (線, 文字を含む)	白	実線
		-FRAM	材料表図枠	白	
		-TXT	文字列	白	
	-DCR (説明・脚色)	-DCR	説明, 着色	—	任意
		-HCH	ハッチ部 (位置)	任意	

【解説】

仮設図には、管路布設図、仮配管図、地下埋設物防護工図、仮設立坑詳細図、水替え計画図、仮設電源配置図等がある。

3-2 土木

レイヤ NO. (適用図面名)		C1 (一般平面図)			
責任 主体	図面オブジェ クト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		外枠	黄	実線
		-FRAM1	タイトル枠	黄	
		-LINE	区切り線・罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BGD		現況地物 (文字を含む)	明灰	実線
		-HICN	等高線の計曲線	明灰	
		-LWCN	等高線の主曲線	明灰	
		-CRS1	主な構造物 1 (平面)	明灰	
		-CRS2	主な構造物 2 (平面)	明灰	
		-CRS3	主な構造物 (横断)	明灰	
		-RSTR	ラスタ化された地図	明灰	
		-XST1	ボーリング柱状位置	明灰	
		-XTXT	旗上げ	明灰	
		-STR1	土木施設	薄緑	
		-STR2	建築施設	薄緑	
		-STR3	建築機械設備	シアン	
		-STR4	建築電気設備	橙	
		-STR5	機械設備	明青	
		-STR6	電気設備	マゼンタ	
	-BMK		構造物基準線 (文字を含む)	赤	一点鎖線
		-SRVR	基準となる点 (測量ポイント)	赤	実線
		-ROW	用地境界線	赤	
		-DIM	寸法線、寸法値	赤	
		-HTXT	旗上げ	赤	
	-STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		-STR3	構造物線 1 (中心線)	赤	一点鎖線
		-STR6	構造物線 4 (平面図用)	白	実線
		-STR7	構造物線 5 (平面図用)	任意	実線
		-DIM2	寸法線、寸法地	任意	実線
		-TXT1	文字列 (平面図用)	任意	実線
		-TXT3	文字列 (断面図用)	任意	実線
	-DCR	-HCH1	ハッチ (今回)	赤	任意
		-HCH2	ハッチ (既設)	白	
		-HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	-DOC	-TXT1	文章 1	白	実線
		-TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		C2 (水位関係図)			
責任 主体	図面オブジェ クト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		外枠	黄	実線
		-FRAM1	タイトル枠	黄	
		-LINE	区切り線・罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BGD		現況地物 (文字を含む)	明灰	実線
		-STR1	土木施設	薄緑	
		-STR2	建築施設	薄緑	
		-STR3	建築機械設備	シアン	
		-STR4	建築電気設備	橙	
		-STR5	機械設備	明青	
		-STR6	電気設備	マゼンタ	
	-STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		-STR1	土工線 (現況地盤高)	白	
		-STR2	土工線 (計画地盤高)	青	
		-STR4	構造物線 2 (断面図用)	白	
		-STR5	構造物線 3 (断面図用)	任意	
		-STR17	水面線	シアン	
		-TXT2	文字列 (平面図用)	任意	
		-TXT4	文字列 (断面図用)	任意	
		-TXT17	水位 1 (寸法線を含む)	シアン	
	-DCR	-HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		-HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		-HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	-DOC	-TXT1	文章 1	白	実線
		-TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		C3 (案内図 (位置図))			
責任 主体	図面オブジェ クト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		外枠	黄	実線
		-FRAM1	タイトル枠	黄	
		-LINE	区切り線・野線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BGD		現況地物 (文字を含む)	明灰	実線
		-CRS1	主な構造物 1 (平面)	明灰	
		-RSTR	ラスタ化された地図	明灰	
		-STR1	土木施設	薄緑	
		-STR2	建築施設	薄緑	
		-STR3	建築機械設備	シアン	
		-STR4	建築電気設備	橙	
		-STR5	機械設備	明青	
		-STR6	電気設備	マゼンタ	
	-STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		-STR7	鉱物線 5 (平面図用)	任意	
		-TXT1	文字列 (平面図用)	任意	
	-DCR	-HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		-HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		-HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	-DOC	-TXT1	文章 1	白	実線
		-TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		C4 (構造図・平面図、構造図・縦横断面図)			
責任 主体	図面オブジェ クト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		外枠	黄	実線
		-FRAM1	タイトル枠	黄	
		-LINE	区切り線・野線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BGD		現況地物 (文字を含む)	明灰	実線
		-STR1	土木施設	薄緑	
		-STR2	建築施設	薄緑	
		-STR3	建築機械設備	シアン	
		-STR4	建築電気設備	橙	
		-STR5	機械設備	明青	
		-STR6	電気設備	マゼンタ	
	-BMK		構造物基準線 (文字を含む)	赤	一点鎖線
		-SRVR	基準となる点 (測量ポイント)	赤	実線
		-ROW	用地境界線	赤	
	-STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		-STR1	土工線 (現況地盤高)	白	
		-STR2	土工線 (計画地盤高)	青	
		-STR3	構造物線 1 (中心線)	赤	一点鎖線
		-STR4	構造物線 2 (断面図用)	白	実線
		-STR5	構造物線 3 (断面図用)	任意	
		-STR6	構造物線 4 (平面図用)	白	
		-STR7	構造物線 5 (平面図用)	任意	
		-DIM1	寸法線、寸法地 1	任意	
		-DIM2	寸法線、寸法地 2	任意	
		-DIM3	寸法線、寸法地 3	任意	
		-TXT1	文字列 1 (平面図用)	任意	
		-TXT2	文字列 2 (平面図用)	任意	
		-TXT3	文字列 3 (断面図用)	任意	
		-TXT4	文字列 4 (断面図用)	任意	
		-TXT5	文字列 5 (工事区分)	任意	
	-STR	(数値区分 21~41)	土木	薄緑	実線
		-STR21	主体となる表示線 1	白	
		-STR22	主体となる表示線 2	任意	
		-STR23	主体となる表示線 3	任意	任意
		-STR24	主体となる表示線 4	明青	
		-STR25	主体となる表示線 5	青紫	
		-STR26	主体となる表示線 6	牡丹	
		-STR27	主体となる表示線 7	薄緑	
		-STR28	主体となる表示線 8	シアン	
		-STR29	主体となる表示線 9	任意	
		-TXT23	文字列 3 (工事区分)	マゼンタ	実線
	-MTR		材料表	白	実線
		-FRAM1	材料表図枠 1	白	
		-FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		-TXT	文字列	白	
		-MTXT	数量文字列	任意	
	-DCR	-HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		-HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		-HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	-DOC	-TXT1	文章 1	白	実線
		-TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		C5 (構造図・基礎伏図)			
責任 主体	図面オブジェ クト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		外枠	黄	実線
		-FRAM1	タイトル枠	黄	
		-LINE	区切り線・野線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BGD		現況地物 (文字を含む)	明灰	実線
		-XST1	ボーリング柱状図位置	明灰	
		-XST2	ボーリング柱状図	明灰	
		-STR1	土木施設	薄緑	
		-STR2	建築施設	薄緑	
		-STR3	建築機械設備	シアン	
		-STR4	建築電気設備	橙	
		-STR5	機械設備	明青	
		-STR6	電気設備	マゼンタ	
	-STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		-STR1	土工線 (現況地盤高)	白	
		-STR2	土工線 (計画地盤高)	青	
		-STR3	構造物線 1 (中心線)	赤	一点鎖線
		-STR5	構造物線 3 (断面図用)	任意	実線
		-STR7	構造物線 5 (平面図用)	任意	
		-DIM1	寸法線、寸法地 1	任意	
		-DIM2	寸法線、寸法地 2	任意	
		-DIM3	寸法線、寸法地 3	任意	
		-TXT1	文字列 1 (平面図用)	任意	
		-TXT2	文字列 2 (平面図用)	任意	
		-TXT3	文字列 3 (断面図用)	任意	
		-TXT4	文字列 4 (断面図用)	任意	
		-TXT5	文字列 5 (工事区分)	任意	
	-STR	(数値区分 21~41)	土木	薄緑	実線
		-STR21	主体となる表示線 1	白	
		-STR22	主体となる表示線 2	任意	任意
		-STR23	主体となる表示線 3	任意	
		-STR24	主体となる表示線 4 (杭)	明青	
		-STR25	主体となる表示線 5 (改良)	青紫	
		-STR26	主体となる表示線 6	牡丹	
		-STR27	主体となる表示線 7	薄緑	
		-STR28	主体となる表示線 8	シアン	
		-STR29	主体となる表示線 9	任意	実線
		-DIM21	寸法線、寸法値 1	白	
		-DIM22	寸法線、寸法値 2	任意	
		-TXT21	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		-TXT22	文字列 2 (寸法引出線を含む)	任意	
		-TXT23	文字列 3 (工事区分)	マゼンタ	
	-MTR		材料表	白	実線
		-FRAM1	材料表図枠 1	白	
		-FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		-TXT	文字列	白	
		-MTXT	数量文字列	任意	
	-DCR	-HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		-HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		-HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	-DOC	-TXT1	文章 1	白	実線
		-TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		C6 (配筋図)			
責任 主体	図面オブジェ クト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		外枠	黄	実線
		-FRAM1	タイトル枠	黄	
		-LINE	区切り線・野線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		-STR1	土工線 (現況地盤高)	白	
		-STR2	土工線 (計画地盤高)	青	
		-STR3	構造物線 1 (中心線)	赤	
		-STR5	構造物線 3 (断面図用)	任意	実線
		-STR7	構造物線 5 (平面図用)	任意	
		-DIM1	寸法線、寸法地 1	任意	
		-DIM2	寸法線、寸法地 2	任意	
		-DIM3	寸法線、寸法地 3	任意	
		-TXT1	文字列 1 (平面図用)	任意	
		-TXT2	文字列 2 (平面図用)	任意	
		-TXT3	文字列 3 (断面図用)	任意	
		-TXT4	文字列 4 (断面図用)	任意	
		-TXT5	文字列 5 (工事区分)	任意	
	-STR	(数値区分 21~41)	土木	薄緑	実線
		-STR21	主体となる表示線 1	白	
		-STR22	主体となる表示線 2	任意	任意
		-STR23	主体となる表示線 3	任意	
		-STR24	主体となる表示線 4 (主筋)	明青	
		-STR25	主体となる表示線 5 (配力筋)	青紫	
		-STR26	主体となる表示線 6 (補強筋)	牡丹	
		-STR27	主体となる表示線 7 (組立筋)	薄緑	
		-STR28	主体となる表示線 8	シアン	
		-STR29	主体となる表示線 9	任意	実線
		-DIM21	寸法線、寸法値 1	白	
		-DIM22	寸法線、寸法値 2	任意	
		-TXT21	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		-TXT22	文字列 2 (寸法引出線を含む)	任意	
		-TXT23	文字列 3 (工事区分)	マゼンタ	
	-MTR		材料表	白	実線
		-FRAM1	材料表図枠 1	白	
		-FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		-TXT	文字列	白	
		-MTXT	数量文字列	任意	
	-DCR	-HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		-HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		-HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	-DOC	-TXT1	文章 1	白	実線
		-TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		C7 (取合い図 (構造詳細図))			
責任 主体	図面オブジェ クト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		外枠	黄	実線
		-FRAM1	タイトル枠	黄	
		-LINE	区切り線・野線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		-STR1	土工線 (現況地盤高)	白	
		-STR2	土工線 (計画地盤高)	青	
		-STR3	構造物線 1 (中心線)	赤	
		-STR5	構造物線 3 (断面図用)	任意	実線
		-STR7	構造物線 5 (平面図用)	任意	
		-DIM1	寸法線、寸法地 1	任意	
		-DIM2	寸法線、寸法地 2	任意	
		-DIM3	寸法線、寸法地 3	任意	
		-TXT1	文字列 1 (平面図用)	任意	
		-TXT2	文字列 2 (平面図用)	任意	
		-TXT3	文字列 3 (断面図用)	任意	
		-TXT4	文字列 4 (断面図用)	任意	
		-TXT5	文字列 5 (工事区分)	任意	
	-STR	(数値区分 21~41)	土木	薄緑	実線
		-STR21	主体となる表示線 1	白	
		-STR22	主体となる表示線 2	任意	任意
		-STR23	主体となる表示線 3	任意	
		-STR24	主体となる表示線 4	明青	
		-STR25	主体となる表示線 5	青紫	
		-STR26	主体となる表示線 6	牡丹	
		-STR27	主体となる表示線 7	薄緑	
		-STR28	主体となる表示線 8	シアン	
		-STR29	主体となる表示線 9	任意	実線
		-DIM21	寸法線、寸法値 1	白	
		-DIM22	寸法線、寸法値 2	任意	
		-TXT21	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		-TXT22	文字列 2 (寸法引出線を含む)	任意	
		-TXT23	文字列 3 (工事区分)	マゼンタ	
	-MTR		材料表	白	実線
		-FRAM1	材料表図枠 1	白	
		-FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		-TXT	文字列	白	
		-MTXT	数量文字列	任意	
	-DCR	-HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		-HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		-HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	-DOC	-TXT1	文章 1	白	実線
		-TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		C8 (箱抜き図 (埋め込み配管図))			
責任 主体	図面オブジェ クト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		外枠	黄	実線
		-FRAM1	タイトル枠	黄	
		-LINE	区切り線・野線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BGD		現況地物 (文字を含む)	明灰	実線
		-STR1	土木施設	薄緑	
		-STR2	建築施設	薄緑	
		-STR3	建築機械設備	シアン	
		-STR4	建築電気設備	橙	
		-STR5	機械設備	明青	
		-STR6	電気設備	マゼンタ	
	-STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		-STR1	土工線 (現況地盤高)	白	
		-STR2	土工線 (計画地盤高)	青	
		-STR3	構造物線 1 (中心線)	赤	一点鎖線
		-STR5	構造物線 3 (断面図用)	任意	実線
		-STR7	構造物線 5 (平面図用)	任意	
		-DIM1	寸法線、寸法地 1	任意	
		-DIM2	寸法線、寸法地 2	任意	
		-DIM3	寸法線、寸法地 3	任意	
		-TXT1	文字列 1 (平面図用)	任意	
		-TXT2	文字列 2 (平面図用)	任意	
		-TXT3	文字列 3 (断面図用)	任意	
		-TXT4	文字列 4 (断面図用)	任意	
		-TXT5	文字列 5 (工事区分)	任意	
	-STR	(数値区分 21~41)	土木	薄緑	実線
		-STR21	主体となる表示線 1	白	
		-STR22	主体となる表示線 2	任意	任意
		-STR23	主体となる表示線 3	任意	
		-STR24	主体となる表示線 4 (箱抜き)	明青	
		-STR25	主体となる表示線 5	青紫	
		-STR26	主体となる表示線 6	牡丹	
		-STR27	主体となる表示線 7 (配管)	薄緑	
		-STR28	主体となる表示線 8	シアン	実線
		-STR29	主体となる表示線 9	任意	
		-DIM21	寸法線、寸法値 1	白	
		-DIM22	寸法線、寸法値 2	任意	
		-TXT21	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		-TXT22	文字列 2 (寸法引出線を含む)	任意	
		-TXT23	文字列 3 (工事区分)	マゼンタ	
	-MTR		材料表	白	実線
		-FRAM1	材料表図枠 1	白	
		-FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		-TXT	文字列	白	
		-MTXT	数量文字列	任意	
	-DCR	-HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		-HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		-HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	-DOC	-TXT1	文章 1	白	実線
		-TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		C9 (場内配管図)			
責任 主体	図面オブジェ クト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		外枠	黄	実線
		-FRAM1	タイトル枠	黄	
		-LINE	区切り線・野線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BGD		現況地物 (文字を含む)	明灰	実線
		-STR1	土木施設	薄緑	
		-STR2	建築施設	薄緑	
		-STR3	建築機械設備	シアン	
		-STR4	建築電気設備	橙	
		-STR5	機械設備	明青	
		-STR6	電気設備	マゼンタ	
	-STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		-STR1	土工線 (現況地盤高)	白	
		-STR2	土工線 (計画地盤高)	青	
		-STR3	構造物線 1 (中心線)	赤	一点鎖線
		-STR5	構造物線 3 (断面図用)	任意	実線
		-STR7	構造物線 5 (平面図用)	任意	
		-DIM1	寸法線、寸法地 1	任意	
		-DIM2	寸法線、寸法地 2	任意	
		-DIM3	寸法線、寸法地 3	任意	
		-TXT1	文字列 1 (平面図用)	任意	
		-TXT2	文字列 2 (平面図用)	任意	
		-TXT3	文字列 3 (断面図用)	任意	
		-TXT4	文字列 4 (断面図用)	任意	
		-TXT5	文字列 5 (工事区分)	任意	
	-STR	(数値区分 21~41)	土木	薄緑	実線
		-STR21	主体となる表示線 1	白	
		-STR22	主体となる表示線 2	任意	任意
		-STR23	主体となる表示線 3	任意	
		-STR24	主体となる表示線 4 (配管)	明青	
		-STR25	主体となる表示線 5	青紫	
		-STR26	主体となる表示線 6	牡丹	
		-STR27	主体となる表示線 7	薄緑	
		-STR28	主体となる表示線 8	シアン	実線
		-STR29	主体となる表示線 9	任意	
		-DIM21	寸法線、寸法値 1	白	
		-DIM22	寸法線、寸法値 2	任意	
		-TXT21	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		-TXT22	文字列 2 (寸法引出線を含む)	任意	
		-TXT23	文字列 3 (工事区分)	マゼンタ	
	-MTR		材料表	白	実線
		-FRAM1	材料表図枠 1	白	
		-FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		-TXT	文字列	白	
		-MTXT	数量文字列	任意	
	-DCR	-HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		-HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		-HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	-DOC	-TXT1	文章 1	白	実線
		-TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		C10 (場内排水図・人孔・柵図・場内道路・門・さく・堀、場内整備図)			
責任 主体	図面オブジェ クト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		外枠	黄	実線
		-FRAM1	タイトル枠	黄	
		-LINE	区切り線・罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BGD		現況地物 (文字を含む)	明灰	実線
		-HICN	等高線の計曲線	明灰	
		-LWCN	等高線の主曲線	明灰	
		-CRS2	主な構造物 2 (平面)	明灰	
		-CRS3	主な構造物 3 (断面)	明灰	
		-HTXT	旗上げ	白	
	-BMK		構造物基準線 (文字を含む)	赤	一点鎖線
		-SRVR	基準となる点 (測量ポイント)	赤	実線
		-ROW	用地境界線	赤	
		-HTXT	旗上げ	赤	
	-STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		-STR1	土工線 (現況地盤高)	白	
		-STR2	土工線 (計画地盤高)	青	
		-STR3	構造物線 1 (中心線)	赤	一点鎖線
		-STR5	構造物線 3 (断面図用)	任意	実線
		-STR7	構造物線 5 (平面図用)	任意	
		-DIM1	寸法線、寸法地 1	任意	
		-DIM2	寸法線、寸法地 2	任意	
		-DIM3	寸法線、寸法地 3	任意	
		-TXT1	文字列 1 (平面図用)	任意	
		-TXT2	文字列 2 (平面図用)	任意	
		-TXT3	文字列 3 (断面図用)	任意	
		-TXT4	文字列 4 (断面図用)	任意	
		-TXT5	文字列 5 (工事区分)	任意	
	-STR	(数値区分 21~41)	土木	薄緑	実線
		-STR21	主体となる表示線 1	白	
		-STR22	主体となる表示線 2	任意	
		-STR23	主体となる表示線 3	任意	
		-STR24	主体となる表示線 4 (排水施設)	明青	任意
		-STR25	主体となる表示線 5 (植栽)	青紫	
		-STR26	主体となる表示線 6 (植栽)	牡丹	
		-STR27	主体となる表示線 7 (植栽)	薄緑	
		-STR28	主体となる表示線 8 (外構)	シアン	
		-STR29	主体となる表示線 9	任意	
		-DIM21	寸法線、寸法値 1	白	実線
		-DIM22	寸法線、寸法値 2	任意	
		-TXT21	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		-TXT22	文字列 2 (寸法引出線を含む)	任意	
		-TXT23	文字列 3 (工事区分)	マゼンタ	
	-MTR		材料表	白	実線
		-FRAM1	材料表図枠 1	白	
		-FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		-TXT	文字列	白	
		-MTXT	数量文字列	任意	
	-DCR	-HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		-HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		-HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	-DOC	-TXT1	文章 1	白	実線
		-TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		C11 (その他詳細図)			
責任 主体	図面オブジェ クト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		外枠	黄	実線
		-FRAM1	タイトル枠	黄	
		-LINE	区切り線・野線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		-STR1	土工線 (現況地盤高)	白	
		-STR2	土工線 (計画地盤高)	青	
		-STR3	構造物線 1 (中心線)	赤	
		-STR5	構造物線 3 (断面図用)	任意	実線
		-STR7	構造物線 5 (平面図用)	任意	
		-DIM1	寸法線、寸法地 1	任意	
		-DIM2	寸法線、寸法地 2	任意	
		-DIM3	寸法線、寸法地 3	任意	
		-TXT1	文字列 1 (平面図用)	任意	
		-TXT2	文字列 2 (平面図用)	任意	
		-TXT3	文字列 3 (断面図用)	任意	
		-TXT4	文字列 4 (断面図用)	任意	
		-TXT5	文字列 5 (工事区分)	任意	
	-STR	(数値区分 21~41)	土木	薄緑	実線
		-STR21	主体となる表示線 1	白	
		-STR22	主体となる表示線 2	任意	任意
		-STR23	主体となる表示線 3	任意	
		-STR24	主体となる表示線 4	明青	
		-STR25	主体となる表示線 5	青紫	
		-STR26	主体となる表示線 6	牡丹	
		-STR27	主体となる表示線 7	薄緑	
		-STR28	主体となる表示線 8	シアン	
		-STR29	主体となる表示線 9	任意	実線
		-DIM21	寸法線、寸法値 1	白	
		-DIM22	寸法線、寸法値 2	任意	
		-TXT21	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		-TXT22	文字列 2 (寸法引出線を含む)	任意	
		-TXT23	文字列 3 (工事区分)	マゼンタ	
	-MTR		材料表	白	実線
		-FRAM1	材料表図枠 1	白	
		-FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		-TXT	文字列	白	
		-MTXT	数量文字列	任意	
	-DCR	-HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		-HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		-HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	-DOC	-TXT1	文章 1	白	実線
		-TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		C12 (土工図)			
責任 主体	図面オブジェ クト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		外枠	黄	実線
		-FRAM1	タイトル枠	黄	
		-LINE	区切り線・罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BGD		現況地物 (文字を含む)	明灰	実線
		-HICN	等高線の計曲線	明灰	
		-LWCN	等高線の主曲線	明灰	
		-CRS2	主な構造物 2 (平面)	明灰	
		-CRS3	主な構造物 3 (断面)	明灰	
		-XST1	ボーリング柱状図位置	明灰	
		-XST2	ボーリング柱状図	明灰	
		-HTXT	旗上げ	白	
	-BMK		構造物基準線 (文字を含む)	赤	一点鎖線
		-SRVR	基準となる点 (測量ポイント)	赤	実線
		-ROW	用地境界線	赤	
		-HTXT	旗上げ	赤	
	-STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		-STR1	土工線 (現況地盤高)	白	
		-STR2	土工線 (計画地盤高)	青	
		-STR3	構造物線 1 (中心線)	赤	一点鎖線
		-STR5	構造物線 3 (断面図用)	任意	実線
		-STR7	構造物線 5 (平面図用)	任意	
		-DIM1	寸法線、寸法地 1	任意	
		-DIM2	寸法線、寸法地 2	任意	
		-DIM3	寸法線、寸法地 3	任意	
		-TXT1	文字列 1 (平面図用)	任意	
		-TXT2	文字列 2 (平面図用)	任意	
		-TXT3	文字列 3 (断面図用)	任意	
		-TXT4	文字列 4 (断面図用)	任意	
		-TXT5	文字列 5 (工事区分)	任意	
	-STR	(数値区分 21~41)	土木	薄緑	実線
		-STR21	主体となる表示線 1	白	
		-STR22	主体となる表示線 2	任意	
		-STR23	主体となる表示線 3	任意	
		-STR24	主体となる表示線 4 (現況)	明青	任意
		-STR25	主体となる表示線 5 (堀削)	青紫	
		-STR26	主体となる表示線 6 (計画)	牡丹	
		-STR27	主体となる表示線 7 (盛土)	薄緑	
		-STR28	主体となる表示線 8	シアン	
		-STR29	主体となる表示線 9	任意	
		-DIM21	寸法線、寸法値 1	白	実線
		-DIM22	寸法線、寸法値 2	任意	
		-TXT21	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		-TXT22	文字列 2 (寸法引出線を含む)	任意	
		-TXT23	文字列 3 (工事区分)	マゼンタ	
	-MTR		材料表	白	実線
		-FRAM1	材料表図枠 1	白	
		-FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		-TXT	文字列	白	
		-MTXT	数量文字列	任意	
	-DCR	-HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		-HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		-HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	-DOC	-TXT1	文章 1	白	実線
		-TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		C13 (仮設図)			
責任 主体	図面オブジェ クト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		外枠	黄	実線
		-FRAM1	タイトル枠	黄	
		-LINE	区切り線・罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BGD		現況地物 (文字を含む)	明灰	実線
		-HICN	等高線の計曲線	明灰	
		-LWCN	等高線の主曲線	明灰	
		-CRS2	主な構造物 2 (平面)	明灰	
		-CRS3	主な構造物 3 (断面)	明灰	
		-XST1	ボーリング柱状図位置	明灰	
		-XST2	ボーリング柱状図	明灰	
		-HTXT	旗上げ	白	
	-BMK		構造物基準線 (文字を含む)	赤	一点鎖線
		-SRVR	基準となる点 (測量ポイント)	赤	実線
		-ROW	用地境界線	赤	
		-HTXT	旗上げ	赤	
	-STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		-STR1	土工線 (現況地盤高)	白	
		-STR2	土工線 (計画地盤高)	青	
		-STR3	構造物線 1 (中心線)	赤	一点鎖線
		-STR5	構造物線 3 (断面図用)	任意	実線
		-STR7	構造物線 5 (平面図用)	任意	
		-DIM1	寸法線、寸法地 1	任意	
		-DIM2	寸法線、寸法地 2	任意	
		-DIM3	寸法線、寸法地 3	任意	
		-TXT1	文字列 1 (平面図用)	任意	
		-TXT2	文字列 2 (平面図用)	任意	
		-TXT3	文字列 3 (断面図用)	任意	
		-TXT4	文字列 4 (断面図用)	任意	
		-TXT5	文字列 5 (工事区分)	任意	
	-STR	(数値区分 21~41)	土木	薄緑	実線
		-STR21	主体となる表示線 1	白	
		-STR22	主体となる表示線 2	任意	
		-STR23	主体となる表示線 3	任意	
		-STR24	主体となる表示線 4	明青	任意
		-STR25	主体となる表示線 5	青紫	
		-STR26	主体となる表示線 6	牡丹	
		-STR27	主体となる表示線 7	薄緑	
		-STR28	主体となる表示線 8	シアン	
		-STR29	主体となる表示線 9	任意	
		-DIM21	寸法線、寸法値 1	白	実線
		-DIM22	寸法線、寸法値 2	任意	
		-TXT21	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		-TXT22	文字列 2 (寸法引出線を含む)	任意	
		-TXT23	文字列 3 (工事区分)	マゼンタ	
	-MTR		材料表	白	実線
		-FRAM1	材料表図枠 1	白	
		-FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		-TXT	文字列	白	
		-MTXT	数量文字列	任意	
	-DCR	-HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		-HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		-HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	-DOC	-TXT1	文章 1	白	実線
		-TXT2	文章 2	任意	

3-3 建築

レイヤ NO. (適用図面名)		A1 (特記仕様書、工事範囲一覧表、法規チェックリスト、仕上表)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	- TTL		外枠	黄	実線
		- FRAM1	タイトル枠	黄	
		- LINE	区切り線・罫線	白	
		- TXT	文字列	白	
	- MTR		材料表	白	実線
		- FRAM1	材料図枠 1	白	
		- FRAM2	材料図枠 2	任意	
		- TXT	文字列	白	
		- MTXT	数量文字列	任意	
	- DCR	- HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		- HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		- HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	- DOC	- TXT1	文章 1	白	実線
		- TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		A2 (案内図)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	- TTL		外枠	黄	実線
		- FRAM1	タイトル枠	黄	
		- LINE	区切り線・罫線	白	
		- TXT	文字列	白	
	- BGD		現況地物 (文字を含む)	明灰	実線
		- CRS1	主な構造物 1 (平面)	明灰	
		- RSTR	ラスタ化された地図	明灰	
	- BMK		構造物基準線 (文字を含む)	赤	一点鎖線
		- ROW	用地境界線	赤	実線
		- HTXT	旗上げ	赤	
	- STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		- STR7	構造物線 (平面図用)	任意	
		- TXT1	文字列 1 (平面図用)	任意	
	- MTR		材料表	白	実線
		- FRAM1	材料表図枠 1	白	
		- FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		- TXT	文字列	白	
		- MTXT	数量文字列	任意	
	- DCR	- HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		- HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		- HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	- DOC	- TXT1	文章 1	白	実線
		- TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		A3 (配置図)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	- TTL		外枠	黄	実線
		- FRAM1	タイトル枠	黄	
		- LINE	区切り線・罫線	白	
		- TXT	文字列	白	
	- BGD		現況地物 (文字を含む)	明灰	実線
		- HICN	等高線の計曲線	明灰	
		- LWCN	等高線の主曲線	明灰	
		- CRS2	主な構造物 2 (平面)	明灰	
		- CRS3	主な構造物 3 (断面)	明灰	
		- RSTR	ラスタ化された地図	明灰	
		- HTXT	旗上げ	明灰	
		- STR1	土木施設	薄緑	
		- STR2	建築施設	薄緑	
		- STR3	建築機械設備	シアン	
		- STR4	建築電気設備	橙	
		- STR5	機械設備	明青	
		- STR6	電気設備	マゼンタ	
	- BMK		構造物基準線 (文字を含む)	赤	一点鎖線
		- SRVR	基準となる点 (測量ポイント)	赤	実線
		- ROW	用地境界線	赤	
		- DIM	寸法線、寸法値	赤	
		- HTXT	旗上げ	赤	
	- STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		- STR3	構造物線 1 (中心線)	赤	一点鎖線
		- STR6	構造物線 4 (平面図用)	白	実線
		- STR7	構造物線 5 (平面図用)	任意	
		- DIM2	寸法線、寸法値 2	任意	
		- TXT1	文字列 1 (平面図用)	任意	
		- TXT3	文字列 3 (断面図用)	任意	
	- MTR		材料表	白	実線
		- FRAM1	材料表図枠 1	白	
		- FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		- TXT	文字列	白	
		- MTXT	数量文字列	任意	
	- DCR	- HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		- HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		- HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	- DOC	- TXT1	文章 1	白	実線
		- TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		A4 (求積図)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	- TTL		外枠	黄	実線
		- FRAM1	タイトル枠	黄	
		- LINE	区切り線・罫線	白	
		- TXT	文字列	白	
	- STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		- STR3	構造物線 1 (中心線)	赤	一点鎖線
		- STR6	構造物線 4 (平面図用)	白	実線
		- DIM2	寸法線、寸法値 2	任意	
		- DIM3	寸法線、寸法値 3	任意	
		- TXT1	文字列 1 (平面図用)	任意	
		- TXT3	文字列 3 (断面図用)	任意	
	- MTR		材料表	白	実線
		- FRAM1	材料表図枠 1	白	
		- FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		- TXT	文字列	白	
	- DCR	- MTXT	数量文字列	任意	任意
		- HCH1	ハッチ (今回)	赤	
		- HCH2	ハッチ (既設)	白	
	- DOC	- HCH3	ハッチ (将来)	黄	実線
		- TXT1	文章 1	白	
		- TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		A5 (平面図)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	- TTL		外枠	黄	実線
		- FRAM1	タイトル枠	黄	
		- LINE	区切り線・罫線	白	
		- TXT	文字列	白	
	- BGD		現況地物 (文字を含む)	明灰	実線
		- STR1	土木施設	薄緑	
		- STR2	建築施設	薄緑	
		- STR3	建築機械設備	シアン	
		- STR4	建築電気設備	橙	
		- STR5	機械設備	明青	
		- STR6	電気設備	マゼンタ	
	- STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		- STR3	構造物線 1 (中心線)	赤	一点鎖線
		- STR6	構造物線 4 (平面図用)	白	実線
		- STR7	構造物線 5 (平面図用)	任意	
		- DIM2	寸法線、寸法地 2	任意	
		- DIM3	寸法線、寸法地 3	任意	
		- TXT1	文字列 1 (平面図用)	任意	
		- TXT3	文字列 3 (断面図用)	任意	
		- TXT5	文字列 5 (工事区分)	マゼンタ	
	- STR	(数値区分 41~60)	建築	薄緑	実線
		- STR41	主体となる表示線 1	白	
		- STR42	主体となる表示線 2	任意	任意
		- STR43	主体となる表示線 3	任意	
		- STR44	主体となる表示線 4	任意	
		- STR45	主体となる表示線 5	任意	
		- STR46	主体となる表示線 6 (建具)	任意	
		- STR47	主体となる表示線 7 (仕上)	任意	
		- STR48	主体となる表示線 8	任意	
		- STR49	主体となる表示線 9 (家具)	任意	
		- STR50	主体となる表示線 10	任意	
		- DIM41	寸法線、寸法値 1	白	実線
		- DIM42	寸法線、寸法値 2	任意	
		- TXT41	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		- TXT43	文字列 3 (工事区分)	マゼンタ	
	- MTR		材料表	白	実線
		- FRAM1	材料表図枠 1	白	
		- FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		- TXT	文字列	白	
		- MTXT	数量文字列	任意	
	- DCR	- HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		- HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		- HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	- DOC	- TXT1	文章 1	白	実線
		- TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		A6 (立面図)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	- TTL		外枠	黄	実線
		- FRAM1	タイトル枠	黄	
		- LINE	区切り線・罫線	白	
		- TXT	文字列	白	
	- BGD		現況地物 (文字を含む)	明灰	実線
		- STR1	土木施設	薄緑	
		- STR2	建築施設	薄緑	
		- STR3	建築機械設備	シアン	
		- STR4	建築電気設備	橙	
		- STR5	機械設備	明青	
		- STR6	電気設備	マゼンタ	
	- STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		- STR1	土工線 (現況地盤高)	白	
		- STR2	土工線 (計画地盤高)	青	実線
		- STR3	構造物線 1 (中心線)	赤	
		- STR4	構造物線 2 (断面図用)	白	
		- STR5	構造物線 3 (断面図用)	任意	
		- STR17	水面線	シアン	
		- DIM2	寸法線、寸法地 2	任意	
		- DIM3	寸法線、寸法地 3	任意	
		- TXT2	文字列 2 (平面図用)	任意	
		- TXT4	文字列 4 (断面図用)	任意	
		- TXT17	水位 1 (寸法線を含む)	シアン	
	- STR	(数値区分 41~60)	建築	薄緑	実線
		- STR41	主体となる表示線 1	白	
		- STR42	主体となる表示線 2	任意	任意
		- STR43	主体となる表示線 3	任意	
		- STR44	主体となる表示線 4	任意	
		- STR45	主体となる表示線 5	任意	
		- STR46	主体となる表示線 6 (建具)	任意	
		- STR47	主体となる表示線 7 (目地)	任意	
		- STR48	主体となる表示線 8 (金物)	任意	
		- STR49	主体となる表示線 9	任意	
		- STR50	主体となる表示線 10	任意	
		- DIM41	寸法線、寸法値 1	白	実線
		- DIM42	寸法線、寸法値 2	任意	
		- TXT41	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		- TXT43	文字列 3 (工事区分)	マゼンタ	
	- MTR		材料表	白	実線
		- FRAM1	材料表図枠 1	白	
		- FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		- TXT	文字列	白	
		- MTXT	数量文字列	任意	
	- DCR	- HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		- HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		- HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	- DOC	- TXT1	文章 1	白	実線
		- TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		A7 (断面図)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	- TTL		外枠	黄	実線
		- FRAM1	タイトル枠	黄	
		- LINE	区切り線・罫線	白	
		- TXT	文字列	白	
	- BGD		現況地物 (文字を含む)	明灰	実線
		- STR1	土木施設	薄緑	
		- STR2	建築施設	薄緑	
		- STR3	建築機械設備	シアン	
		- STR4	建築電気設備	橙	
		- STR5	機械設備	明青	
		- STR6	電気設備	マゼンタ	
	- STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		- STR1	土工線 (現況地盤高)	白	
		- STR2	土工線 (計画地盤高)	青	一点鎖線
		- STR3	構造物線 1 (中心線)	赤	
		- STR4	構造物線 2 (断面図用)	白	
		- STR5	構造物線 3 (断面図用)	任意	
		- STR17	水面線	シアン	
		- DIM2	寸法線、寸法地 2	任意	
		- DIM3	寸法線、寸法地 3	任意	
		- TXT2	文字列 2 (平面図用)	任意	
		- TXT4	文字列 4 (平面図用)	任意	
		- TXT5	文字列 5 (工事区分)	マゼンタ	
		- TXT17	水位 1 (寸法線を含む)	シアン	
	- STR	(数値区分 41~60)	建築	薄緑	実線
		- STR41	主体となる表示線 1	白	
		- STR42	主体となる表示線 2	任意	任意
		- STR43	主体となる表示線 3	任意	
		- STR44	主体となる表示線 4	任意	
		- STR45	主体となる表示線 5	任意	
		- STR46	主体となる表示線 6 (建具)	任意	
		- STR47	主体となる表示線 7 (仕上)	任意	
		- STR48	主体となる表示線 8	任意	
		- STR49	主体となる表示線 9 (家具)	任意	
		- STR50	主体となる表示線 10	任意	
		- DIM41	寸法線、寸法値 1	白	実線
		- DIM42	寸法線、寸法値 2	任意	
		- TXT41	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		- TXT43	文字列 3 (工事区分)	マゼンタ	
	- MTR		材料表	白	実線
		- FRAM1	材料表図枠 1	白	
		- FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		- TXT	文字列	白	
		- MTXT	数量文字列	任意	
	- DCR	- HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		- HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		- HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	- DOC	- TXT1	文章 1	白	実線
		- TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		A8 (矩形図)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	- TTL		外枠	黄	実線
		- FRAM1	タイトル枠	黄	
		- LINE	区切り線・罫線	白	
		- TXT	文字列	白	
	- STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		- STR1	土工線 (現況地盤高)	白	
		- STR2	土工線 (計画地盤高)	青	
		- STR3	構造物線 1 (中心線)	赤	
		- STR4	構造物線 2 (断面図用)	白	実線
		- STR5	構造物線 3 (断面図用)	任意	
		- STR6	構造物線 4 (平面図用)	白	
		- STR7	構造物線 5 (平面図用)	任意	
		- DIM2	寸法線、寸法地 2	任意	
		- DIM3	寸法線、寸法地 3	任意	
		- TXT1	文字列 1 (断面図用)	任意	
		- TXT2	文字列 2 (平面図用)	任意	
		- TXT3	文字列 3 (断面図用)	任意	
		- TXT4	文字列 4 (平面図用)	任意	
		- TXT5	文字列 5 (工事区分)	マゼンタ	
	- STR	(数値区分 41~60)	建築	薄緑	実線
		- STR41	主体となる表示線 1	白	
		- STR42	主体となる表示線 2	任意	任意
		- STR43	主体となる表示線 3	任意	
		- STR44	主体となる表示線 4	任意	
		- STR45	主体となる表示線 5	任意	
		- STR46	主体となる表示線 6 (建具)	任意	
		- STR47	主体となる表示線 7 (仕上)	任意	
		- STR48	主体となる表示線 8	任意	
		- STR49	主体となる表示線 9 (家具)	任意	
		- STR50	主体となる表示線 10	任意	
		- DIM41	寸法線、寸法値 1	白	実線
		- DIM42	寸法線、寸法値 2	任意	
		- TXT41	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		- TXT43	文字列 3 (工事区分)	マゼンタ	
	- MTR		材料表	白	実線
		- FRAM1	材料表図枠 1	白	
		- FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		- TXT	文字列	白	
		- MTXT	数量文字列	任意	
	- DCR	- HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		- HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		- HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	- DOC	- TXT1	文章 1	白	実線
		- TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		A9 (詳細図)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	- TTL		外枠	黄	実線
		- FRAM1	タイトル枠	黄	
		- LINE	区切り線・罫線	白	
		- TXT	文字列	白	
	- STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		- STR1	土工線 (現況地盤高)	白	
		- STR2	土工線 (計画地盤高)	青	
		- STR3	構造物線 1 (中心線)	赤	一点鎖線
		- STR4	構造物線 2 (断面図用)	白	実線
		- STR5	構造物線 3 (断面図用)	任意	
		- STR6	構造物線 4 (平面図用)	白	
		- STR7	構造物線 5 (平面図用)	任意	
		- DIM2	寸法線、寸法地 2	任意	
		- DIM3	寸法線、寸法地 3	任意	
		- TXT1	文字列 1 (平面図用)	任意	
		- TXT2	文字列 2 (平面図用)	任意	
		- TXT3	文字列 3 (断面図用)	任意	
		- TXT4	文字列 4 (断面図用)	任意	
		- TXT5	文字列 5 (工事区分)	マゼンタ	
	- STR	(数値区分 41~60)	建築	薄緑	実線
		- STR41	主体となる表示線 1	白	
		- STR42	主体となる表示線 2	任意	任意
		- STR43	主体となる表示線 3	任意	
		- STR44	主体となる表示線 4	任意	
		- STR45	主体となる表示線 5	任意	
		- STR46	主体となる表示線 6 (建具)	任意	
		- STR47	主体となる表示線 7 (仕上)	任意	
		- STR48	主体となる表示線 8	任意	
		- STR49	主体となる表示線 9 (家具)	任意	
		- STR50	主体となる表示線 10	任意	
		- DIM41	寸法線、寸法値 1	白	実線
		- DIM42	寸法線、寸法値 2	任意	
		- TXT41	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		- TXT43	文字列 3 (工事区分)	マゼンタ	
	- MTR		材料表	白	実線
		- FRAM1	材料表図枠 1	白	
		- FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		- TXT	文字列	白	
		- MTXT	数量文字列	任意	
	- DCR	- HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		- HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		- HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	- DOC	- TXT1	文章 1	白	実線
		- TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		A10 (配筋詳細図、断面リスト、ラーメン図)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	- TTL		外枠	黄	実線
		- FRAM1	タイトル枠	黄	
		- LINE	区切り線・罫線	白	
		- TXT	文字列	白	
	- STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		- STR1	土工線 (現況地盤高)	白	
		- STR2	土工線 (計画地盤高)	青	
		- STR3	構造物線 (中心線)	赤	
		- STR5	構造物線 3 (断面図用)	任意	一点鎖線
		- STR7	構造物線 5 (平面図用)	任意	
		- DIM2	寸法線、寸法地 2	任意	
		- DIM3	寸法線、寸法地 3	任意	
		- TXT1	文字列 1 (断面図用)	任意	
		- TXT2	文字列 2 (平面図用)	任意	
		- TXT3	文字列 3 (断面図用)	任意	
		- TXT4	文字列 4 (平面図用)	任意	
	- STR	(数値区分 61~70)	建築構造	薄緑	実線
		- STR61	主体となる表示線 11	白	
		- STR62	主体となる表示線 12	白	任意
		- STR63	主体となる表示線 13	白	
		- STR64	主体となる表示線 14	任意	
		- STR65	主体となる表示線 15	任意	
		- STR66	主体となる表示線 16	任意	実線
		- STR67	主体となる表示線 17 (主筋)	明青	
		- STR68	主体となる表示線 18 (配力筋)	青紫	
		- STR69	主体となる表示線 19 (補強筋)	牡丹	
		- STR70	主体となる表示線 20 (組立筋)	薄緑	
		- DIM61	寸法線、寸法値.3	白	
		- DIM62	寸法線、寸法値 4	任意	
		- TXT61	文字列 4 (寸法引出線を含む)	白	
		- TXT62	文字列 5 (寸法引出線を含む)	任意	
		- TXT63	文字列 6 (工事区分)	マゼンタ	
	- MTR		材料表	白	実線
		- FRAM1	材料表図枠 1	白	
		- FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		- TXT	文字列	白	
		- MTXT	数量文字列	任意	
	- DCR	- HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		- HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		- HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	- DOC	- TXT1	文章 1	白	実線
		- TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		A11 (箱抜き参考図 (埋め込み管図))			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	- TTL		外枠	黄	実線
		- FRAM1	タイトル枠	黄	
		- LINE	区切り線・罫線	白	
		- TXT	文字列	白	
	- BGD		現況地物 (文字を含む)	明灰	実線
		- STR1	土木施設	薄緑	
		- STR2	建築施設	薄緑	
		- STR3	建築機械設備	シアン	
		- STR4	建築電気設備	橙	
		- STR5	機械設備	明青	
		- STR6	電気設備	マゼンタ	
	- STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		- STR1	土工線 (現況地盤高)	白	
		- STR2	土工線 (計画地盤高)	青	一点鎖線
		- STR3	構造物線 1 (中心線)	赤	
		- STR5	構造物線 3 (断面図用)	任意	
		- STR7	構造物線 5 (平面図用)	任意	
		- DIM2	寸法線、寸法地 2	任意	
		- TXT2	文字列 1 (平面図用)	任意	
		- TXT4	文字列 3 (断面図用)	任意	
		- TXT5	文字列 5 (工事区分)	マゼンタ	
	- STR	(数値区分 41~60)	建築	薄緑	実線
		- STR41	主体となる表示線 1	白	
		- STR42	主体となる表示線 2	任意	
		- STR43	主体となる表示線 3	任意	任意
		- STR44	主体となる表示線 4	任意	
		- STR45	主体となる表示線 5 (箱抜き)	任意	
		- STR46	主体となる表示線 6	任意	
		- STR47	主体となる表示線 7 (配管)	任意	
		- STR48	主体となる表示線 8 (開口)	任意	
		- STR49	主体となる表示線 9	任意	
		- STR50	主体となる表示線 10	任意	
		- DIM41	寸法線、寸法値 1	白	実線
		- DIM42	寸法線、寸法値 2	任意	
		- TXT41	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		- TXT43	文字列 3 (工事区分)	マゼンタ	
	- MTR		材料表	白	実線
		- FRAM1	材料表図枠 1	白	
		- FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		- TXT	文字列	白	
	- DCR	- MTXT	数量文字列	任意	実線
		- HCH1	ハッチ (今回)	赤	
		- HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
	- DOC	- HCH3	ハッチ (将来)	黄	
		- TXT1	文章 1	白	実線
		- TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		A12 (伏図、軸組図)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	- TTL		外枠	黄	実線
		- FRAM1	タイトル枠	黄	
		- LINE	区切り線・罫線	白	
		- TXT	文字列	白	
	- STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		- STR3	構造物線 1 (中心線)	赤	一点鎖線
		- STR5	構造物線 3 (断面図用)	任意	実線
		- STR7	構造物線 5 (平面図用)	任意	
		- DIM2	寸法線、寸法地 2	任意	
		- TXT1	文字列 1 (断面図用)	任意	
		- TXT3	文字列 3 (断面図用)	任意	
	- STR	(数値区分 61~70)	建築構造	薄緑	実線
		- STR61	主体となる表示線 11	白	任意
		- STR62	主体となる表示線 12	白	
		- STR63	主体となる表示線 13	白	
		- STR64	主体となる表示線 14	任意	
		- STR65	主体となる表示線 15 (柱)	任意	実線
		- STR66	主体となる表示線 16 (梁)	任意	
		- STR67	主体となる表示線 17	明青	
		- STR68	主体となる表示線 18	青紫	
		- STR69	主体となる表示線 19	牡丹	
		- STR70	主体となる表示線 20	薄緑	
		- DIM61	寸法線、寸法値.3	白	
		- DIM62	寸法線、寸法値 4	任意	
		- TXT61	文字列 4 (寸法引出線を含む)	白	
		- TXT62	文字列 5 (寸法引出線を含む)	任意	
		- TXT63	文字列 6 (工事区分)	マゼンタ	
	- MTR		材料表	白	実線
		- FRAM1	材料表図枠 1	白	
		- FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		- TXT	文字列	白	
		- MTXT	数量文字列	任意	
	- DCR	- HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		- HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		- HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	- DOC	- TXT1	文章 1	白	実線
		- TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		A13 (展開図)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	- TTL		外枠	黄	実線
		- FRAM1	タイトル枠	黄	
		- LINE	区切り線・罫線	白	
		- TXT	文字列	白	
	- STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		- STR1	土工線 (現況地盤高)	白	
		- STR2	土工線 (計画地盤高)	青	
		- STR3	構造物線 1 (中心線)	赤	一点鎖線
		- STR5	構造物線 3 (断面図用)	任意	実線
		- STR7	構造物線 5 (平面図用)	任意	
		- DIM2	寸法線、寸法地 2	任意	
		- DIM3	寸法線、寸法地 3	任意	
		- TXT2	文字列 2 (平面図用)	任意	
		- TXT4	文字列 4 (断面図用)	任意	
		- TXT5	文字列 5 (工事区分)	マゼンタ	
	- STR	(数値区分 41~60)	建築	薄緑	実線
		- STR41	主体となる表示線 1	白	
		- STR42	主体となる表示線 2	任意	任意
		- STR43	主体となる表示線 3	任意	
		- STR44	主体となる表示線 4	任意	
		- STR45	主体となる表示線 5	任意	
		- STR46	主体となる表示線 6	任意	
		- STR47	主体となる表示線 7	任意	
		- STR48	主体となる表示線 8	任意	
		- STR49	主体となる表示線 9	任意	
		- STR50	主体となる表示線 10	任意	
		- DIM41	寸法線、寸法値 1	白	実線
		- DIM42	寸法線、寸法値 2	任意	
		- TXT41	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		- TXT43	文字列 3 (工事区分)	マゼンタ	
	- MTR		材料表	白	実線
		- FRAM1	材料表図枠 1	白	
		- FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		- TXT	文字列	白	
		- MTXT	数量文字列	任意	
	- DCR	- HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		- HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		- HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	- DOC	- TXT1	文章 1	白	実線
		- TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		A14 (天井伏図)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	- TTL		外枠	黄	実線
		- FRAM1	タイトル枠	黄	
		- LINE	区切り線・罫線	白	
		- TXT	文字列	白	
	- STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		- STR3	構造物線 1 (中心線)	赤	一点鎖線
		- STR6	構造物線 4 (平面図用)	白	実線
		- STR7	構造物線 5 (平面図用)	任意	
		- DIM2	寸法線、寸法地 2	任意	
		- TXT1	文字列 1 (平面図用)	任意	
		- TXT3	文字列 3 (断面図用)	任意	
	- STR	(数値区分 41~60)	建築	薄緑	実線
		- STR41	主体となる表示線 1	白	任意
		- STR42	主体となる表示線 2	任意	
		- STR43	主体となる表示線 3	任意	
		- STR44	主体となる表示線 4	任意	
		- STR45	主体となる表示線 5 (壁・柱)	任意	
		- STR46	主体となる表示線 6	任意	
		- STR47	主体となる表示線 7 (梁・床)	任意	
		- STR48	主体となる表示線 8 (開口)	任意	
		- STR49	主体となる表示線 9 (備品)	任意	
		- STR50	主体となる表示線 10	任意	
		- DIM41	寸法線、寸法値 1	白	実線
		- DIM42	寸法線、寸法値 2	任意	
		- TXT41	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		- TXT43	文字列 3 (工事区分)	マゼンタ	
	- MTR		材料表	白	実線
		- FRAM1	材料表図枠 1	白	
		- FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		- TXT	文字列	白	
		- MTXT	数量文字列	任意	
	- DCR	- HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		- HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		- HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	- DOC	- TXT1	文章 1	白	実線
		- TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		A15 (建具図)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	- TTL		外枠	黄	実線
		- FRAM1	タイトル枠	黄	
		- LINE	区切り線・罫線	白	
		- TXT	文字列	白	
	- STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		- STR3	構造物線 1 (中心線)	赤	一点鎖線
		- STR6	構造物線 4 (平面図用)	白	実線
		- STR7	構造物線 5 (平面図用)	任意	
		- DIM2	寸法線、寸法地 2	任意	
		- TXT1	文字列 1 (平面図用)	任意	
		- TXT3	文字列 3 (断面図用)	任意	
	- STR	(数値区分 41~60)	建築	薄緑	実線
		- STR41	主体となる表示線 1 (建具 1)	白	任意
		- STR42	主体となる表示線 2 (建具 2)	任意	
		- STR43	主体となる表示線 3 (建具 3)	任意	
		- STR44	主体となる表示線 4 (建具 4)	任意	
		- STR45	主体となる表示線 5 (建具 5)	任意	
		- STR46	主体となる表示線 6 (建具 6)	任意	
		- STR47	主体となる表示線 7 (建具 7)	任意	
		- STR48	主体となる表示線 8 (建具 8)	任意	
		- STR49	主体となる表示線 9 (建具 9)	任意	
		- STR50	主体となる表示線 10	任意	
		- DIM41	寸法線、寸法値 1	白	実線
		- DIM42	寸法線、寸法値 2	任意	
		- TXT41	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		- TXT43	文字列 3 (工事区分)	マゼンタ	
	- MTR		材料表	白	実線
		- FRAM1	材料表図枠 1	白	
		- FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		- TXT	文字列	白	
		- MTXT	数量文字列	任意	
	- DCR	- HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		- HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		- HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	- DOC	- TXT1	文章 1	白	実線
		- TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		A16 (基礎図)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		外枠	黄	実線
		-FRAM1	タイトル枠	黄	
		-LINE	区切り線・罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BGD		現況地物 (文字を含む)	明灰	実線
		-XST1	ボーリング柱状図位置	明灰	
		-XST2	ボーリング柱状図	明灰	
		-STR1	土木施設	薄緑	
		-STR2	建築施設	薄緑	
		-STR3	建築機械設備	シアン	
		-STR4	建築電気設備	橙	
		-STR5	機械設備	明青	
		-STR6	電気設備	マゼンタ	
	-STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		-STR1	土工線 (現況地盤高)	白	
		-STR2	土工線 (計画地盤高)	青	
		-STR3	構造物線 1 (中心線)	赤	一点鎖線
		-STR5	構造物線 3 (断面図用)	任意	
		-STR7	構造物線 5 (平面図用)	任意	
		-DIM2	寸法線、寸法地 2	任意	
		-TXT1	文字列 1 (平面図用)	任意	
		-TXT3	文字列 3 (断面図用)	任意	
		-TXT5	文字列 5 (工事区分)	マゼンタ	
	-STR	(数値区分 61~70)	建築構造	薄緑	実線
		-STR61	主体となる表示線 11	白	
		-STR62	主体となる表示線 12	白	
		-STR63	主体となる表示線 13	白	任意
		-STR64	主体となる表示線 14	任意	
		-STR65	主体となる表示線 15 (杭)	任意	
		-STR66	主体となる表示線 16 (地盤改良)	任意	
		-STR67	主体となる表示線 17	明青	実線
		-STR68	主体となる表示線 18	青紫	
		-STR69	主体となる表示線 19	牡丹	
		-STR70	主体となる表示線 20	薄緑	
		-DIM61	寸法線、寸法値.3	白	
		-DIM62	寸法線、寸法値 4	任意	
		-TXT61	文字列 4 (寸法引出線を含む)	白	
		-TXT62	文字列 5 (寸法引出線を含む)	任意	
		-TXT63	文字列 6 (工事区分)	マゼンタ	
	-MTR		材料表	白	実線
		-FRAM1	材料表図枠 1	白	
		-FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		-TXT	文字列	白	
		-MTXT	数量文字列	任意	
	-DCR	-HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		-HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		-HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	-DOC	-TXT1	文章 1	白	実線
		-TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		A17 (その他土工図)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	- TTL		外枠	黄	実線
		- FRAM1	タイトル枠	黄	
		- LINE	区切り線・罫線	白	
		- TXT	文字列	白	
	- BGD		現況地物 (文字を含む)	明灰	実線
		- HICN	等高線の計曲線	明灰	
		- LWCN	等高線の主曲線	明灰	
		- CRS2	主な構造物 2 (平面)	明灰	
		- XST1	ボーリング柱状図位置	明灰	
		- XST2	ボーリング柱状図	明灰	
	- STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		- STR1	土工線 (現況地盤高)	白	
		- STR2	土工線 (計画地盤高)	青	
		- STR3	構造物線 1 (中心線)	赤	一点鎖線
		- STR5	構造物線 3 (断面図用)	任意	実線
		- STR7	構造物線 5 (平面図用)	任意	
		- DIM2	寸法線、寸法地 2	任意	
		- DIM3	寸法線、寸法地 3	任意	
		- TXT1	文字列 1 (平面図用)	任意	
		- TXT2	文字列 2 (平面図用)	任意	
		- TXT3	文字列 3 (断面図用)	任意	
		- TXT4	文字列 4 (断面図用)	任意	
		- TXT5	文字列 5 (工事区分)	マゼンタ	
	- STR	(数値区分 61~70)	建築構造	薄緑	実線
		- STR61	主体となる表示線 11	白	
		- STR62	主体となる表示線 12	白	
		- STR63	主体となる表示線 13	白	任意
		- STR64	主体となる表示線 14	任意	
		- STR65	主体となる表示線 15	任意	
		- STR66	主体となる表示線 16	任意	
		- STR67	主体となる表示線 17 (現況)	明青	実線
		- STR68	主体となる表示線 18 (掘削)	青紫	
		- STR69	主体となる表示線 19 (計画)	牡丹	
		- STR70	主体となる表示線 20 (盛土)	薄緑	
		- DIM61	寸法線、寸法値.3	白	
		- DIM62	寸法線、寸法値 4	任意	
		- TXT61	文字列 4 (寸法引出線を含む)	白	
		- TXT62	文字列 5 (寸法引出線を含む)	任意	
		- TXT63	文字列 6 (工事区分)	マゼンタ	
	- MTR		材料表	白	実線
		- FRAM1	材料表図枠 1	白	
		- FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		- TXT	文字列	白	
		- MTXT	数量文字列	任意	
	- DCR	- HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		- HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		- HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	- DOC	- TXT1	文章 1	白	実線
		- TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		A18 (その他仮設図)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	- TTL		外枠	黄	実線
		- FRAM1	タイトル枠	黄	
		- LINE	区切り線・罫線	白	
		- TXT	文字列	白	
	- BGD		現況地物 (文字を含む)	明灰	実線
		- HICN	等高線の計曲線	明灰	
		- LWCN	等高線の主曲線	明灰	
		- CRS2	主な構造物 2 (平面)	明灰	
		- XST1	ボーリング柱状図位置	明灰	
		- XST2	ボーリング柱状図	明灰	
	- STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		- STR1	土工線 (現況地盤高)	白	
		- STR2	土工線 (計画地盤高)	青	
		- STR3	構造物線 1 (中心線)	赤	一点鎖線
		- STR5	構造物線 3 (断面図用)	任意	
		- STR7	構造物線 5 (平面図用)	任意	
		- DIM2	寸法線、寸法地 2	任意	
		- DIM3	寸法線、寸法地 3	任意	
		- TXT1	文字列 1 (平面図用)	任意	
		- TXT2	文字列 2 (平面図用)	任意	
		- TXT3	文字列 3 (断面図用)	任意	
		- TXT4	文字列 4 (断面図用)	任意	
	- STR	(数値区分 61~70)	建築構造	薄緑	実線
		- STR61	主体となる表示線 11	白	
		- STR62	主体となる表示線 12	白	
		- STR63	主体となる表示線 13	白	任意
		- STR64	主体となる表示線 14	任意	
		- STR65	主体となる表示線 15	任意	
		- STR66	主体となる表示線 16	任意	
		- STR67	主体となる表示線 17	明青	実線
		- STR68	主体となる表示線 18	青紫	
		- STR69	主体となる表示線 19	牡丹	
		- STR70	主体となる表示線 20	薄緑	
		- DIM61	寸法線、寸法値.3	白	
		- DIM62	寸法線、寸法値 4	任意	
		- TXT61	文字列 4 (寸法引出線を含む)	白	
		- TXT62	文字列 5 (寸法引出線を含む)	任意	
		- TXT63	文字列 6 (工事区分)	マゼンタ	
	- MTR		材料表	白	実線
		- FRAM1	材料表図枠 1	白	
		- FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		- TXT	文字列	白	
		- MTXT	数量文字列	任意	
	- DCR	- HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		- HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		- HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	- DOC	- TXT1	文章 1	白	実線
		- TXT2	文章 2	任意	

3-4 建築機械設備

レイヤ NO. (適用図面名)		AM1 (特記仕様書)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		外枠	黄	実線
		-FRAM1	タイトル枠	黄	
		-LINE	区切り線・罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-MTR		材料表	白	実線
		-FRAM1	材料表図枠 1	白	
		-FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		-TXT	文字列	白	
		-MTXT	数量文字列	任意	
	-DCR	-HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		-HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		-HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	-DOC	-TXT1	文章 1	白	実線
		-TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		AM2 (配置図)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		外枠	黄	実線
		-FRAM1	タイトル枠	黄	
		-LINE	区切り線・罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BGD		現況地物 (文字を含む)	明灰	実線
		-HICN	等高線の計曲線	明灰	
		-LWCN	等高線の主曲線	明灰	
		-CRS2	主な構造物 2 (平面)	明灰	
		-RSTR	ラスタ化された地図	明灰	
		-STR1	土木施設	薄緑	
		-STR2	建築施設	薄緑	
		-STR3	建築機械設備	シアン	
		-STR4	建築電気設備	橙	
		-STR5	機械設備	明青	
		-STR6	電気設備	マゼンタ	
	-BMK		構造物基準線 (文字を含む)	赤	一点鎖線
		-ROW	用地境界線	赤	実線
	-STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		-STR3	構造物線 1 (中心線)	赤	一点鎖線
		-STR6	構造物線 4 (平面図用)	白	実線
		-STR7	構造物線 5 (平面図用)	任意	
		-DIM1	寸法線、寸法値 1	任意	
		-TXT1	文字列 1 (平面図用)	任意	
		-TXT3	文字列 3 (断面図用)	任意	
	-MTR		材料表	白	実線
		-FRAM1	材料表図枠 1	白	
		-FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		-TXT	文字列	白	
		-MTXT	数量文字列	任意	
	-DCR	-HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		-HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		-HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	-DOC	-TXT1	文章 1	白	実線
		-TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		AM3 (系統図)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	- TTL		外枠	黄	実線
		- FRAM1	タイトル枠	黄	
		- LINE	区切り線・罫線	白	
		- TXT	文字列	白	
	- STR	(数値区分 71~85)	建築機械設備	シアン	実線
		- STR71	設備外形線 1 (中心線)	赤	一点鎖線
		- STR72	設備外形線 2 (機器)	白	実線
		- STR73	設備外形線 3	任意	
		- STR74	配管配線外形線 (空調換気設備 1)	任意	任意
		- STR75	配管配線外形線 (空調換気設備 2)	任意	
		- STR76	配管配線外形線 (上水設備)	任意	
		- STR77	配管配線外形線 (衛生設備)	任意	
		- STR78	配管配線外形線 (ガス設備)	任意	
		- STR79	配管配線外形線 (消火設備)	任意	
		- STR80	配管配線外形線 (燃料設備)	任意	
		- STR81	配管配線外形線 (温水設備)	任意	
		- STR82	配管配線外形線 (空気配管設備)	任意	
		- STR83	配管配線外形線 (自動制御設備)	任意	
		- DIM71	寸法線、寸法値 1	白	実線
		- DIM72	寸法線、寸法値 2	任意	
		- TXT71	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		- TXT72	文字列 2 (寸法引出線を含む)	任意	
		- TXT73	文字列 3 (工事区分)	マゼンタ	
	- MTR		材料表	白	実線
		- FRAM1	材料表図枠 1	白	
		- FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		- TXT	文字列	白	
		- MTXT	数量文字列	任意	
	- DCR	- HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		- HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		- HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	- DOC	- TXT1	文章 1	白	実線
		- TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		AM4 (屋外配管図、各階配管図及び風道平面図、自動制御用配管配線平面図)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	- TTL		外枠	黄	実線
		- FRAM1	タイトル枠	黄	
		- LINE	区切り線・罫線	白	
		- TXT	文字列	白	
	- BGD		現況地物 (文字を含む)	明灰	実線
		- STR1	土木施設	薄緑	
		- STR2	建築施設	薄緑	
		- STR3	建築機械設備	シアン	
		- STR4	建築電気設備	橙	
		- STR5	機械設備	明青	
		- STR6	電気設備	マゼンタ	
	- STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		- STR3	構造物線 1 (中心線)	赤	一点鎖線
		- STR6	構造物線 4 (平面図用)	白	実線
		- STR7	構造物線 5 (平面図用)	任意	
		- DIM1	寸法線、寸法地 1	任意	
		- DIM2	寸法線、寸法地 2	任意	
		- DIM3	寸法線、寸法地 3	任意	
		- TXT1	文字列 1 (平面図用)	任意	
		- TXT3	文字列 3 (断面図用)	任意	
	- STR	(数値区分 71~85)	建築機械設備	シアン	実線
		- STR71	設備外形線 1 (中心線)	赤	一点鎖線
		- STR72	設備外形線 2 (機器)	白	実線
		- STR73	設備外形線 3	任意	
		- STR74	配管配線外形線 (空調換気設備 1)	任意	任意
		- STR75	配管配線外形線 (空調換気設備 2)	任意	
		- STR76	配管配線外形線 (上水設備)	任意	
		- STR77	配管配線外形線 (衛生設備)	任意	
		- STR78	配管配線外形線 (ガス設備)	任意	
		- STR79	配管配線外形線 (消火設備)	任意	
		- STR80	配管配線外形線 (燃料設備)	任意	
		- STR81	配管配線外形線 (温水設備)	任意	
		- STR82	配管配線外形線 (空気配管設備)	任意	
		- STR83	配管配線外形線 (自動制御設備)	任意	
		- DIM71	寸法線、寸法値 1	白	実線
		- DIM72	寸法線、寸法値 2	任意	
		- TXT71	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		- TXT72	文字列 2 (寸法引出線を含む)	任意	
		- TXT73	文字列 3 (工事区分)	マゼンタ	
	- MTR		材料表	白	実線
		- FRAM1	材料表図枠 1	白	
		- FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		- TXT	文字列	白	
		- MTXT	数量文字列	任意	
	- DCR	- HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		- HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		- HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	- DOC	- TXT1	文章 1	白	実線
		- TXT2	文章 2	任意	

3-5 建築電気設備

レイヤ NO. (適用図面名)		AE1 (特記仕様書)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	- TTL		外枠	黄	実線
		- FRAM1	タイトル枠	黄	
		- LINE	区切り線・罫線	白	
		- TXT	文字列	白	
	- MTR		材料表	白	実線
		- FRAM1	材料表図枠 1	白	
		- FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		- TXT	文字列	白	
		- MTXT	数量文字列	任意	
	- DCR	- HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		- HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		- HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	- DOC	- TXT1	文章 1	白	実線
		- TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		AE2 (構内図、各階平面図 (各階配線図))			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	- TTL		外枠	黄	実線
		- FRAM1	タイトル枠	黄	
		- LINE	区切り線・罫線	白	
		- TXT	文字列	白	
	- BGD		現況地物 (文字を含む)	明灰	実線
		- STR1	土木施設	薄緑	
		- STR2	建築施設	薄緑	
		- STR3	建築機械設備	シアン	
		- STR4	建築電気設備	橙	
		- STR5	機械設備	明青	
		- STR6	電気設備	マゼンタ	
	- STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		- STR3	構造物線 1 (中心線)	赤	一点鎖線
		- STR6	構造物線 4 (平面図用)	白	実線
		- STR7	構造物線 5 (平面図用)	任意	
		- DIM1	寸法線、寸法地 1	任意	
		- DIM2	寸法線、寸法地 2	任意	
		- DIM3	寸法線、寸法地 3	任意	
		- TXT1	文字列 1 (平面図用)	任意	
		- TXT3	文字列 3 (断面図用)	任意	
	- STR	(数値区分 86~99)	建築電気設備	橙	実線
		- STR86	設備外形線 1 (中心線)	赤	一点鎖線
		- STR87	設備外形線 2 (機器)	白	実線
		- STR88	設備外形線 3	任意	
		- STR89	配管配線外形線 (電話設備)	任意	任意
		- STR90	配管配線外形線 (火災報知設備)	任意	
		- STR91	配管配線外形線 (電灯設備)	任意	
		- STR92	配管配線外形線 (動力設備)	任意	
		- STR93	配管配線外形線 (放送設備)	任意	
		- STR94	配管配線外形線 (避雷設備)	任意	
		- STR95	ダクト・ラック外形線	任意	
		- DIM86	寸法線、寸法値 1	白	実線
		- DIM87	寸法線、寸法値 2	任意	
		- TXT86	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		- TXT87	文字列 2 (寸法引出線を含む)	任意	
		- TXT88	文字列 3 (工事区分)	マゼンタ	
	- MTR		材料表	白	実線
		- FRAM1	材料表図枠 1	白	
		- FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		- TXT	文字列	白	
		- MTXT	数量文字列	任意	
	- DCR	- HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		- HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		- HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	- DOC	- TXT1	文章 1	白	実線
		- TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		AE3 (系統図)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	- TTL		外枠	黄	実線
		- FRAM1	タイトル枠	黄	
		- LINE	区切り線・罫線	白	
		- TXT	文字列	白	
	- STR	(数値区分 1~20)	土木・建築 (共通)	薄緑	実線
		- STR3	構造物線 1 (中心線)	赤	一点鎖線
		- STR6	構造物線 4 (平面図用)	白	実線
		- STR7	構造物線 5 (平面図用)	任意	
		- DIM1	寸法線、寸法地 1	任意	
		- DIM2	寸法線、寸法地 2	任意	
		- DIM3	寸法線、寸法地 3	任意	
		- TXT1	文字列 1 (平面図用)	任意	
		- TXT3	文字列 3 (断面図用)	任意	
	- STR	(数値区分 86~99)	建築電気設備	橙	実線
		- STR86	設備外形線 1 (中心線)	赤	一点鎖線
		- STR87	設備外形線 2 (機器)	白	実線
		- STR88	設備外形線 3	任意	
		- STR89	配管配線外形線 (電話設備)	任意	任意
		- STR90	配管配線外形線 (火災報知設備)	任意	
		- STR91	配管配線外形線 (電灯設備)	任意	
		- STR92	配管配線外形線 (動力設備)	任意	
		- STR93	配管配線外形線 (放送設備)	任意	
		- STR94	配管配線外形線 (避雷設備)	任意	
		- STR95	ダクト・ラック外形線	任意	
		- DIM86	寸法線、寸法値 1	白	実線
		- DIM87	寸法線、寸法値 2	任意	
		- TXT86	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		- TXT87	文字列 2 (寸法引出線を含む)	任意	
		- TXT88	文字列 3 (工事区分)	マゼンタ	
	- MTR		材料表	白	実線
		- FRAM1	材料表図枠 1	白	
		- FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		- TXT	文字列	白	
		- MTXT	数量文字列	任意	
	- DCR	- HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		- HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		- HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	- DOC	- TXT1	文章 1	白	実線
		- TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		AE4 (盤結線図)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	- TTL		外枠	黄	実線
		- FRAM1	タイトル枠	黄	
		- LINE	区切り線・罫線	白	
		- TXT	文字列	白	
	- STR	(数値区分 86～99)	建築電気設備	橙	実線
		- STR86	設備外形線 1 (中心線)	赤	一点鎖線
		- STR87	設備外形線 2 (機器)	白	実線
		- STR88	設備外形線 3	任意	
		- STR89	配管配線外形線 (電話設備)	任意	任意
		- STR90	配管配線外形線 (火災報知設備)	任意	
		- STR91	配管配線外形線 (電灯設備)	任意	
		- STR92	配管配線外形線 (動力設備)	任意	
		- STR93	配管配線外形線 (放送設備)	任意	
		- STR94	配管配線外形線 (避雷設備)	任意	
		- STR95	ダクト・ラック外形線	任意	
		- DIM86	寸法線、寸法値 1	白	実線
		- DIM87	寸法線、寸法値 2	任意	
		- TXT86	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		- TXT87	文字列 2 (寸法引出線を含む)	任意	
		- TXT88	文字列 3 (工事区分)	マゼンタ	
	- MTR		材料表	白	実線
		- FRAM1	材料表図枠 1	白	
		- FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		- TXT	文字列	白	
		- MTXT	数量文字列	任意	
	- DCR	- HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		- HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		- HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	- DOC	- TXT1	文章 1	白	実線
		- TXT2	文章 2	任意	

3-6 機械設備

レイヤ NO. (適用図面名)		M1 (全体平面図)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		外枠	黄	実線
		-FRAM1	タイトル枠	黄	
		-LINE	区切り線・罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BGD		現況地物 (文字を含む)	明灰	実線
		-HICN	等高線の計曲線	明灰	
		-LWCN	等高線の主曲線	明灰	
		-CRS2	主な構造物 2 (平面)	明灰	
		-RSTR	ラスタ化された地図	明灰	
		-STR1	土木施設	薄緑	
		-STR2	建築施設	薄緑	
		-STR3	建築機械設備	シアン	
		-STR4	建築電気設備	橙	
		-STR5	機械設備	明青	
		-STR6	電気設備	マゼンタ	
	-BMK		構造物基準線 (文字を含む)	赤	一点鎖線
		-ROW	用地境界線	赤	実線
	-BYP	(数値区分 1~49)	機械設備	明青	実線
		-STR1	機器外形線 1 (中心線)	赤	一点鎖線
		-STR2	機器外形線 2 (機器 1)	白	実線
		-STR3	機器外形線 3 (機器 2)	任意	任意
		-STR4	機器外形線 4 (系統線、配管)	任意	
		-STR6	機器外形線 6 (基礎)	任意	
		-DIM1	寸法線、寸法値 1	白	実線
		-DIM2	寸法線、寸法値 2	任意	
		-TXT1	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		-TXT2	文字列 2 (寸法引出線を含む)	任意	
		-TXT3	文字列 3 (工事区分)	マゼンタ	実線
		-STR10	機器外形線 (今回)	明青	
		-STR11	機器外形線 (既設)	白	
		-STR12	機器外形線 (将来)	黄	二点鎖線
		-STR13	機器外形線 (今回)	明青	実線
		-STR14	機器外形線 (既設)	白	
		-STR15	機器外形線 (将来)	黄	二点鎖線
		-DIM10	寸法線、寸法値 1 (今回)	明青	実線
		-DIM11	寸法線、寸法値 2 (既設)	白	
		-DIM12	寸法線、寸法値 3 (将来)	黄	二点鎖線
	-MTR		材料表	白	実線
		-FRAM1	材料表図枠 1	白	
		-FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		-TXT	文字列	白	
		-MTXT	数量文字列	任意	
	-DCR	-HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		-HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		-HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	-DOC	-TXT1	文章 1	白	実線
		-TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		M2 (配置平面図、配置断面図、その他 (配管図))			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		外枠	黄	実線
		-FRAM1	タイトル枠	黄	
		-LINE	区切り線・罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BGD		現況地物 (文字を含む)	明灰	実線
		-STR1	土木施設	薄緑	
		-STR2	建築施設	薄緑	
		-STR3	建築機械設備	シアン	
		-STR4	建築電気設備	橙	
		-STR5	機械設備	明青	
		-STR6	電気設備	マゼンタ	
	-BYP	(数値区分 1~49)	機械設備	明青	実線
		-STR1	機器外形線 1 (中心線)	赤	一点鎖線
		-STR2	機器外形線 2 (機器 1)	白	実線
		-STR3	機器外形線 3 (機器 2)	任意	任意
		-STR4	機器外形線 4 (系統線、配管 1)	任意	
		-STR5	機器外形線 5 (系統線、配管 2)	任意	
		-STR6	機器外形線 6 (基礎)	任意	
		-DIM1	寸法線、寸法値 1	白	実線
		-DIM2	寸法線、寸法値 2	任意	
		-TXT1	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		-TXT2	文字列 2 (寸法引出線を含む)	任意	
		-TXT3	文字列 3 (工事区分)	マゼンタ	実線
		-STR10	機器外形線 (今回)	明青	
		-STR11	機器外形線 (既設)	白	
		-STR12	機器外形線 (将来)	黄	二点鎖線
		-STR13	機器外形線 (今回)	明青	実線
		-STR14	機器外形線 (既設)	白	
		-STR15	機器外形線 (将来)	黄	二点鎖線
		-DIM10	寸法線、寸法値 1 (今回)	明青	実線
		-DIM11	寸法線、寸法値 2 (既設)	白	
		-DIM12	寸法線、寸法値 3 (将来)	黄	二点鎖線
	-MTR		材料表	白	実線
		-FRAM1	材料表図枠 1	白	
		-FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		-TXT	文字列	白	
		-MTXT	数量文字列	任意	
	-DCR	-HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		-HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		-HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	-DOC	-TXT1	文章 1	白	実線
		-TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		M3 (フローシート)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	- TTL		外枠	黄	実線
		- FRAM1	タイトル枠	黄	
		- LINE	区切り線・罫線	白	
		- TXT	文字列	白	
	- BYP	(数値区分 1~49)	機械設備	明青	実線
		- STR2	機器外形線 2 (機器 1)	白	
		- STR3	機器外形線 3 (機器 2)	任意	任意
		- STR4	機器外形線 4 (配管 1)	任意	
		- STR5	機器外形線 5 (配管 2)	任意	
		- STR6	機器外形線 6 (流向)	任意	
		- DIM1	寸法線、寸法値 1	白	実線
		- DIM2	寸法線、寸法値 2	任意	
		- TXT1	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		- TXT2	文字列 2 (寸法引出線を含む)	任意	
		- TXT3	文字列 3 (工事区分)	マゼンタ	実線
		- STR10	機器外形線 (今回)	明青	
		- STR11	機器外形線 (既設)	白	二点鎖線
		- STR12	機器外形線 (将来)	黄	
		- STR13	機器外形線 (今回)	明青	実線
		- STR14	機器外形線 (既設)	白	
		- STR15	機器外形線 (将来)	黄	二点鎖線
		- DIM10	寸法線、寸法値 1 (今回)	明青	
		- DIM11	寸法線、寸法値 2 (既設)	白	実線
		- DIM12	寸法線、寸法値 3 (将来)	黄	
	- MTR		材料表	白	実線
		- FRAM1	材料表図枠 1	白	
		- FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		- TXT	文字列	白	
		- MTXT	数量文字列	任意	
	- DCR	- HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		- HCH2	ハッチ (既設)	白	
		- HCH3	ハッチ (将来)	黄	任意
	- DOC	- TXT1	文章 1	白	
		- TXT2	文章 2	任意	実線

レイヤ NO. (適用図面名)		M4 (水位関係図)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	- TTL		外枠	黄	実線
		- FRAM1	タイトル枠	黄	
		- LINE	区切り線・罫線	白	
		- TXT	文字列	白	
	- BYP	(数値区分 1~49)	機械設備	明青	実線
		- STR1	機器外形線 1 (中心線)	赤	一点鎖線
		- STR2	機器外形線 2	白	実線
		- STR3	機器外形線 3	任意	任意
		- STR4	機器外形線 4	任意	
		- STR5	機器外形線 5	任意	
		- DIM1	寸法線、寸法値 1	白	実線
		- DIM2	寸法線、寸法値 2	任意	
		- TXT1	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		- TXT2	文字列 2 (寸法引出線を含む)	任意	
		- STR10	機器外形線 (今回)	明青	実線
		- STR11	機器外形線 (既設)	白	
		- STR12	機器外形線 (将来)	黄	二点鎖線
		- STR13	機器外形線 (今回)	明青	実線
		- STR14	機器外形線 (既設)	白	
		- STR15	機器外形線 (将来)	黄	二点鎖線
		- DIM10	寸法線、寸法値 1 (今回)	明青	実線
		- DIM11	寸法線、寸法値 2 (既設)	白	
		- DIM12	寸法線、寸法値 3 (将来)	黄	二点鎖線
	- MTR		材料表	白	実線
		- FRAM1	材料表図枠 1	白	
		- FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		- TXT	文字列	白	
		- MTXT	数量文字列	任意	
	- DCR	- HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		- HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		- HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	- DOC	- TXT1	文章 1	白	実線
		- TXT2	文章 2	任意	

3-7 電気設備

レイヤ NO. (適用図面名)		E1 (全体配置図、機器配置平面図)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	- TTL		外枠	黄	実線
		- FRAM1	タイトル枠	黄	
		- LINE	区切り線・罫線	白	
		- TXT	文字列	白	
	- BGD		現況地物 (文字を含む)	明灰	実線
		- STR1	土木施設	薄緑	
		- STR2	建築施設	薄緑	
		- STR3	建築機械設備	シアン	
		- STR4	建築電気設備	橙	
		- STR5	機械設備	明青	
		- STR6	電気設備	マゼンタ	
	- BYP	(数値区分 50～99)	電気設備	マゼンタ	実線
		- STR50	機器外形線 1 (機器 1)	白	
		- STR51	機器外形線 2 (機器 2)	任意	任意
		- STR52	機器外形線 3 (配管配線 1)	任意	
		- STR53	機器外形線 4 (配管配線 2)	任意	
		- STR54	機器外形線 5	任意	
		- STR55	機器外形線 6	任意	
		- STR56	機器外形線 7 (ラック)	任意	
		- STR57	機器外形線 8 (ピット)	任意	
		- STR58	機器外形線 9	任意	
		- STR59	機器外形線 10	任意	
		- DIM50	寸法線、寸法値 1	白	実線
		- DIM51	寸法線、寸法値 2	任意	
		- TXT50	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		- TXT51	文字列 2 (寸法引出線を含む)	任意	
		- TXT54	文字列 5 (工事区分)	マゼンタ	
		- STR60	機器外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		- STR61	機器外形線 (既設)	白	
		- STR62	機器外形線 (将来)	黄	二点鎖線
		- STR63	配管配線外形線 (配管材料) (今回)	マゼンタ	実線
		- STR64	配管配線外形線 (配管材料) (既設)	白	
		- STR65	配管配線外形線 (配管材料) (将来)	黄	二点鎖線
		- STR66	配管配線外形線 (ピット) (今回)	マゼンタ	実線
		- STR67	配管配線外形線 (ピット) (既設)	白	
		- STR68	配管配線外形線 (ピット) (将来)	黄	二点鎖線
		- STR69	配管配線外形線 (ラック) (今回)	マゼンタ	実線
		- STR70	配管配線外形線 (ラック) (既設)	白	
		- STR71	配管配線外形線 (ラック) (将来)	黄	二点鎖線
		- STR72	配管配線外形線 (埋込配管) (今回)	マゼンタ	実線
		- STR73	配管配線外形線 (埋込配管) (既設)	白	
		- STR74	配管配線外形線 (埋込配管) (将来)	黄	二点鎖線
		- STR75	配管配線外形線 (露出配管) (今回)	マゼンタ	実線
		- STR76	配管配線外形線 (露出配管) (既設)	白	
		- STR77	配管配線外形線 (露出配管) (将来)	黄	二点鎖線
		- STR78	配管配線外形線 (配線) (今回)	マゼンタ	実線
		- STR79	配管配線外形線 (配線) (既設)	白	
		- STR80	配管配線外形線 (配線) (将来)	黄	二点鎖線
		- DIM60	寸法線、寸法値 1 (今回)	マゼンタ	実線
		- DIM61	寸法線、寸法値 2 (既設)	白	

		－DIM62	寸法線、寸法値 3（将来）	黄	二点鎖線
	－MTR		材料表	白	実線
		－FRAM1	材料表図枠 1	白	
		－FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		－TXT	文字列	白	
		－MTXT	数量文字列	任意	
	－DCR	－HCH1	ハッチ（今回）	赤	実線
		－HCH2	ハッチ（既設）	白	任意
		－HCH3	ハッチ（将来）	黄	
	－DOC	－TXT1	文章 1	白	実線
		－TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		E2 (単線結線図)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		外枠	黄	実線
		-FRAM1	タイトル枠	黄	
		-LINE	区切り線・罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BYP	(数値区分 50～99)	電気設備	マゼンタ	実線
		-STR50	機器外形線 1 (幹線)	白	
		-STR51	機器外形線 2 (機器)	任意	任意
		-STR52	機器外形線 3 (補助機器)	任意	
		-STR53	機器外形線 4 (盤)	任意	
		-STR54	機器外形線 5	任意	
		-STR55	機器外形線 6 (幹線)	任意	
		-STR56	機器外形線 7 (幹線)	任意	
		-STR57	機器外形線 8 (機器)	任意	
		-STR58	機器外形線 9	任意	
		-STR59	機器外形線 10	任意	
		-DIM50	寸法線、寸法値 1	白	実線
		-DIM51	寸法線、寸法値 2	任意	
		-TXT50	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		-TXT51	文字列 2 (寸法引出線を含む)	任意	
		-TXT54	文字列 5 (工事区分)	マゼンタ	実線
		-STR60	機器外形線 (今回)	マゼンタ	
		-STR61	機器外形線 (既設)	白	実線
		-STR62	機器外形線 (将来)	黄	
		-STR63	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR64	配管配線外形線 (既設)	白	
		-STR65	配管配線外形線 (将来)	黄	二点鎖線
		-STR66	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR67	配管配線外形線 (既設)	白	
		-STR69	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR70	配管配線外形線 (既設)	白	
		-STR72	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR73	配管配線外形線 (既設)	白	
		-STR75	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR76	配管配線外形線 (既設)	白	
		-DIM60	寸法線、寸法値 1 (今回)	マゼンタ	実線
		-DIM61	寸法線、寸法値 2 (既設)	白	
		-DIM62	寸法線、寸法値 3 (将来)	黄	二点鎖線
	-MTR		材料表	白	実線
		-FRAM1	材料表図枠 1	白	
		-FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		-TXT	文字列	白	
		-MTXT	数量文字列	任意	実線
	-DCR	-HCH1	ハッチ (今回)	赤	
		-HCH2	ハッチ (既設)	白	
		-HCH3	ハッチ (将来)	黄	任意
	-DOC	-TXT1	文章 1	白	
		-TXT2	文章 2	任意	実線

レイヤ NO. (適用図面名)		E3 (主要配管・配線系統図)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		外枠	黄	実線
		-FRAM1	タイトル枠	黄	
		-LINE	区切り線・罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BYP	(数値区分 50～99)	電気設備	マゼンタ	実線
		-STR50	機器外形線 1 (機器 1)	白	
		-STR51	機器外形線 2 (機器 2)	任意	任意
		-STR52	機器外形線 3 (配管配線 1)	任意	
		-STR53	機器外形線 4 (配管配線 2)	任意	
		-STR54	機器外形線 5 (配管配線 3)	任意	
		-STR55	機器外形線 6 (基礎)	任意	
		-STR56	機器外形線 7 (ラック)	任意	
		-STR57	機器外形線 8 (ピット)	任意	
		-STR58	機器外形線 9	任意	
		-STR59	機器外形線 10	任意	
		-DIM50	寸法線、寸法値 1	白	実線
		-DIM51	寸法線、寸法値 2	任意	
		-TXT50	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		-TXT51	文字列 2 (寸法引出線を含む)	任意	
		-TXT52	文字列 3 (拾い 1)	任意	
		-TXT53	文字列 4 (拾い 2)	任意	
		-TXT54	文字列 5 (工事区分)	マゼンタ	
		-STR60	機器外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR61	機器外形線 (既設)	白	
		-STR62	機器外形線 (将来)	黄	二点鎖線
		-STR63	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR64	配管配線外形線 (既設)	白	
		-STR65	配管配線外形線 (将来)	黄	二点鎖線
		-STR66	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR67	配管配線外形線 (既設)	白	
		-STR72	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR73	配管配線外形線 (既設)	白	
		-STR75	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR76	配管配線外形線 (既設)	白	
		-STR78	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR79	配管配線外形線 (既設)	白	
		-DIM60	寸法線、寸法値 1 (今回)	マゼンタ	実線
		-DIM61	寸法線、寸法値 2 (既設)	白	
		-DIM62	寸法線、寸法値 3 (将来)	黄	二点鎖線
	-MTR		材料表	白	実線
		-FRAM1	材料表図枠 1	白	
		-FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		-TXT	文字列	白	
		-MTXT	数量文字列	任意	
	-DCR	-HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		-HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		-HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	-DOC	-TXT1	文章 1	白	実線
		-TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		E4 (接地系統図)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		外枠	黄	実線
		-FRAM1	タイトル枠	黄	
		-LINE	区切り線・罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BYP	(数値区分 50～99)	電気設備	マゼンタ	実線
		-STR50	機器外形線 1 (機器)	白	
		-STR51	機器外形線 2	任意	任意
		-STR52	機器外形線 3	任意	
		-STR53	機器外形線 4	任意	
		-STR54	機器外形線 5	任意	
		-STR55	機器外形線 6	任意	
		-STR56	機器外形線 7	任意	
		-STR57	機器外形線 8	任意	
		-STR58	機器外形線 9	任意	
		-STR59	機器外形線 10	任意	
		-DIM50	寸法線、寸法値 1	白	実線
		-DIM51	寸法線、寸法値 2	任意	
		-TXT50	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		-TXT51	文字列 2 (寸法引出線を含む)	任意	
		-TXT54	文字列 5 (工事区分)	マゼンタ	実線
		-STR60	機器外形線 (今回)	マゼンタ	
		-STR61	機器外形線 (既設)	白	二点鎖線
		-STR62	機器外形線 (将来)	黄	
		-STR63	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR64	配管配線外形線 (既設)	白	
		-STR65	配管配線外形線 (将来)	黄	二点鎖線
		-STR66	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR67	配管配線外形線 (既設)	白	
		-STR72	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR73	配管配線外形線 (既設)	白	
		-STR75	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR76	配管配線外形線 (既設)	白	
		-STR78	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR79	配管配線外形線 (既設)	白	
		-DIM60	寸法線、寸法値 1 (今回)	マゼンタ	実線
		-DIM61	寸法線、寸法値 2 (既設)	白	
		-DIM62	寸法線、寸法値 3 (将来)	黄	二点鎖線
	-MTR		材料表	白	実線
		-FRAM1	材料表図枠 1	白	
		-FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		-TXT	文字列	白	
		-MTXT	数量文字列	任意	実線
	-DCR	-HCH1	ハッチ (今回)	赤	
		-HCH2	ハッチ (既設)	白	
		-HCH3	ハッチ (将来)	黄	任意
	-DOC	-TXT1	文章 1	白	
		-TXT2	文章 2	任意	実線

レイヤ NO. (適用図面名)		E5 (計装フローシート)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		外枠	黄	実線
		-FRAM1	タイトル枠	黄	
		-LINE	区切り線・罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BYP	(数値区分 50～99)	電気設備	マゼンタ	実線
		-STR50	機器外形線 1 (機器 1)	白	
		-STR51	機器外形線 2 (機器 2)	任意	任意
		-STR52	機器外形線 3 (配管)	任意	
		-STR53	機器外形線 4	任意	
		-STR54	機器外形線 5	任意	
		-STR55	機器外形線 6 (機器)	任意	
		-STR56	機器外形線 7 (信号)	任意	
		-STR57	機器外形線 8 (流向)	任意	
		-STR58	機器外形線 9	任意	
		-STR59	機器外形線 10	任意	
		-DIM50	寸法線、寸法値 1	白	実線
		-DIM51	寸法線、寸法値 2	任意	
		-TXT50	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		-TXT51	文字列 2 (寸法引出線を含む)	任意	
		-TXT54	文字列 5 (工事区分)	マゼンタ	実線
		-STR60	機器外形線 (今回)	マゼンタ	
		-STR61	機器外形線 (既設)	白	二点鎖線
		-STR62	機器外形線 (将来)	黄	
		-STR63	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR64	配管配線外形線 (既設)	白	
		-STR65	配管配線外形線 (将来)	黄	二点鎖線
		-STR72	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR73	配管配線外形線 (既設)	白	
		-STR75	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR76	配管配線外形線 (既設)	白	
		-DIM60	寸法線、寸法値 1 (今回)	マゼンタ	実線
		-DIM61	寸法線、寸法値 2 (既設)	白	
		-DIM62	寸法線、寸法値 3 (将来)	黄	二点鎖線
	-MTR		材料表	白	実線
		-FRAM1	材料表図枠 1	白	
		-FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		-TXT	文字列	白	
		-MTXT	数量文字列	任意	実線
	-DCR	-HCH1	ハッチ (今回)	赤	
		-HCH2	ハッチ (既設)	白	
		-HCH3	ハッチ (将来)	黄	任意
	-DOC	-TXT1	文章 1	白	実線
		-TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		E6 (システム構成図)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		外枠	黄	実線
		-FRAM1	タイトル枠	黄	
		-LINE	区切り線・罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BYP	(数値区分 50～99)	電気設備	マゼンタ	実線
		-STR50	機器外形線 1 (機器)	白	
		-STR51	機器外形線 2	任意	任意
		-STR52	機器外形線 3 (動力)	任意	
		-STR53	機器外形線 4	任意	
		-STR54	機器外形線 5	任意	
		-STR55	機器外形線 6	任意	
		-STR56	機器外形線 7 (信号)	任意	
		-STR57	機器外形線 8	任意	
		-STR58	機器外形線 9 (設置区分)	任意	
		-STR59	機器外形線 10	任意	
		-DIM50	寸法線、寸法値 1	白	実線
		-DIM51	寸法線、寸法値 2	任意	
		-TXT50	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		-TXT51	文字列 2 (寸法引出線を含む)	任意	
		-STR60	機器外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR61	機器外形線 (既設)	白	
		-STR62	機器外形線 (将来)	黄	二点鎖線
		-STR63	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR64	配管配線外形線 (既設)	白	
		-STR65	配管配線外形線 (将来)	黄	二点鎖線
		-STR66	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR67	配管配線外形線 (既設)	白	
		-STR69	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR70	配管配線外形線 (既設)	白	
		-STR72	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR73	配管配線外形線 (既設)	白	
		-STR75	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR76	配管配線外形線 (既設)	白	
		-DIM60	寸法線、寸法値 1 (今回)	マゼンタ	実線
		-DIM61	寸法線、寸法値 2 (既設)	白	
		-DIM62	寸法線、寸法値 3 (将来)	黄	二点鎖線
	-MTR		材料表	白	実線
		-FRAM1	材料表図枠 1	白	
		-FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		-TXT	文字列	白	
		-MTXT	数量文字列	任意	実線
	-DCR	-HCH1	ハッチ (今回)	赤	
		-HCH2	ハッチ (既設)	白	
		-HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	-DOC	-TXT1	文章 1	白	実線
		-TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		E7 (主要機器外形 (寸法) 図)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		外枠	黄	実線
		-FRAM1	タイトル枠	黄	
		-LINE	区切り線・罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BYP	(数値区分 50～99)	電気設備	マゼンタ	実線
		-STR50	機器外形線 1 (機器)	白	
		-STR51	機器外形線 2	任意	任意
		-STR52	機器外形線 3	任意	
		-STR53	機器外形線 4	任意	
		-STR54	機器外形線 5 (取付金具)	任意	
		-STR55	機器外形線 6 (基礎)	任意	
		-STR56	機器外形線 7 (機器)	任意	
		-STR57	機器外形線 8	任意	
		-STR58	機器外形線 9	任意	
		-STR59	機器外形線 10	任意	
		-DIM50	寸法線、寸法値 1	白	実線
		-DIM51	寸法線、寸法値 2	任意	
		-TXT50	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		-TXT51	文字列 2 (寸法引出線を含む)	任意	
		-TXT54	文字列 5 (工事区分)	マゼンタ	実線
		-STR60	機器外形線 (今回)	マゼンタ	
		-STR61	機器外形線 (既設)	白	実線
		-STR62	機器外形線 (将来)	黄	
		-STR63	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR64	配管配線外形線 (既設)	白	
		-STR65	配管配線外形線 (将来)	黄	二点鎖線
		-STR66	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR67	配管配線外形線 (既設)	白	
		-STR72	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR73	配管配線外形線 (既設)	白	
		-STR75	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR76	配管配線外形線 (既設)	白	
		-STR78	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR79	配管配線外形線 (既設)	白	
		-DIM60	寸法線、寸法値 1 (今回)	マゼンタ	実線
		-DIM61	寸法線、寸法値 2 (既設)	白	
		-DIM62	寸法線、寸法値 3 (将来)	黄	二点鎖線
	-MTR		材料表	白	実線
		-FRAM1	材料表図枠 1	白	
		-FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		-TXT	文字列	白	
		-MTXT	数量文字列	任意	実線
	-DCR	-HCH1	ハッチ (今回)	赤	
		-HCH2	ハッチ (既設)	白	
		-HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	-DOC	-TXT1	文章 1	白	実線
		-TXT2	文章 2	任意	

レイヤ NO. (適用図面名)		E8 (配管・配線布設図)			
責任 主体	図面オブジ ェクト	作図要素	レイヤに含まれる内容	線色 (黒背景)	線種
S D C M	-TTL		外枠	黄	実線
		-FRAM1	タイトル枠	黄	
		-LINE	区切り線・罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BGD		現況地物 (文字を含む)	明灰	実線
		-STR1	土木施設	薄緑	
		-STR2	建築施設	薄緑	
		-STR3	建築機械設備	シアン	
		-STR4	建築電気設備	橙	
		-STR5	機械設備	明青	
		-STR6	電気設備	マゼンタ	
	-BYP	(数値区分 50～99)	電気設備	マゼンタ	実線
		-STR50	機器外形線 1 (機器)	白	任意
		-STR51	機器外形線 2	任意	
		-STR52	機器外形線 3 (配管配線 1)	任意	
		-STR53	機器外形線 4 (配管配線 2)	任意	
		-STR54	機器外形線 5	任意	
		-STR55	機器外形線 6 (機器)	任意	
		-STR56	機器外形線 7	任意	
		-STR57	機器外形線 8	任意	
		-STR58	機器外形線 9	任意	
		-STR59	機器外形線 10	任意	
		-DIM50	寸法線、寸法値 1	白	実線
		-DIM51	寸法線、寸法値 2	任意	
		-TXT50	文字列 1 (寸法引出線を含む)	白	
		-TXT51	文字列 2 (寸法引出線を含む)	任意	
		-TXT52	文字列 3 (拾い 1)	任意	
		-TXT53	文字列 4 (拾い 2)	任意	
		-TXT54	文字列 5 (工事区分)	マゼンタ	
		-STR60	機器外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR61	機器外形線 (既設)	白	
		-STR62	機器外形線 (将来)	黄	二点鎖線
		-STR63	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR64	配管配線外形線 (既設)	白	
		-STR65	配管配線外形線 (将来)	黄	二点鎖線
		-STR66	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR67	配管配線外形線 (既設)	白	
		-STR68	配管配線外形線 (将来)	黄	二点鎖線
		-STR72	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR73	配管配線外形線 (既設)	白	
		-STR75	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR76	配管配線外形線 (既設)	白	
		-STR78	配管配線外形線 (今回)	マゼンタ	実線
		-STR79	配管配線外形線 (既設)	白	
		-DIM60	寸法線、寸法値 1 (今回)	マゼンタ	実線
		-DIM61	寸法線、寸法値 2 (既設)	白	
		-DIM62	寸法線、寸法値 3 (将来)	黄	
	-MTR		材料表	白	実線
		-FRAM1	材料表図枠 1	白	
		-FRAM2	材料表図枠 2	任意	
		-TXT	文字列	白	
		-MTXT	数量文字列	任意	
	-DCR	-HCH1	ハッチ (今回)	赤	実線
		-HCH2	ハッチ (既設)	白	任意
		-HCH3	ハッチ (将来)	黄	
	-DOC	-TXT1	文章 1	白	実線
		-TXT2	文章 2	任意	

付属資料 1 表示記号（例）

（東京都における例。管路については土木学会「土木C A D製図基準（案）」にも例がある。）

(1) 管 種			(2) 鋳鉄異形管記号	
名 称		記 号	名 称	記 号
管 径 (mm)		Φ	曲 管	
材 質	高級鋳鉄 ダクタイル鋳鉄	FC FCD	三 受 十 字 管	
	ビニル管	VP	二 受 十 字 管	
	石綿管	AP	フランジ付き T 字 管	
	鋼 管	SP	片 落 管	
	ステンレス管	SSP	仕 切 弁 副 管	
継 手	柔 継 手	A 形	A	
		K 形	K	
		T 形	T	
		U 形	U	
	剛 継 手	KF 形	KF	
		UF 形	UF	
		フランジ	F	
	耐 震 継 手	S 形	S	
		S II 形	S II	
		US 形	US	
		NS 形	NS	
そ の 他	特殊押輪			
	拔出防止金具2号			
	ライク (NS形)			
	塗 装	M (モルタル)		
		CE (エポキシ樹脂)		
		AS (アスファルト)		
		TE (タールエポキシ)		
		PO (ポリウレタン)		

(3) 地下構造物

名 称	記 号
水 道 工水管は（工水）と表示する。	
既 設 水 道 管	
新 設 水 道 管	
撤 去 水 道 管	
使用廃止水道管	
(消火栓) 地下式双口	
(消火栓) 地下式双口 (ハトマン)	
(消火栓) 地下式単口	
(消火栓) 地上式砲弾型	
(消火栓) 地上式砲弾柱型	
(制水弁) 仕切弁（手動）	
(制水弁) 仕切弁（電動）	
(制水弁) 仕切弁（手動、ソフシール）	
(制水弁) バタフライ弁（手動）	
(制水弁) バタフライ弁（電動）	
(制水弁) ロート弁（手動）	
(制水弁) ロート弁（電動）	
バイパス付 制 水 弁	
空気弁、双口	
空気弁、単口	
(量水器) 区画量水器	

名 称	記 号
(量水器) ベンチュリー	
(量水器) ウォルトマン	
(量水器) 電磁流量計	
(量水器) 超音波流量計	
排 水 設 備	
逆 止 弁	
マ ン ホ ー ル	
マ ン ホ ー ル 空気弁と併用の場合	
伸 縮 可 と う 管	
排 流 器	
検 水 栓	
減 圧 弁	
集 中 分 岐 管	
空気弁、急排	
簡 易 排 水 栓	
地 下 排 水 栓	
テレメータ 1 量	
テレメータ 2 量	
自 動 水 質 計 器	

(4) 水道以外の地下構造物

名 称	記 号
ガ ス	----- Φ150 DP1.20
バ ル ブ	-----⊙-----
水 取 器	-----□-----
制 圧 器	-----⊙-----
下 水	-----⊙-----
雨 水 枥	○ ○ ○
汚 水 枥	● ● ●
東 電	-----⊙----- Φ75 2条4段 DP1.20
電 電	-----⊙----- Φ75 3条4段 DP1.20
当局ケーブル	通信ケーブル -----⊙----- HP Φ100 DP1.20

(5) 地上構造物

名 称	記 号
柱	-----○-----
電気柱 コンクリート 又は鋼木	-----●----- -----●-----
電話柱 コンクリート 又は鋼木	-----●----- -----●-----
街 灯 コンクリート 又は鋼木	-----○----- -----○-----
都 電 架 線 柱 鋼	-----□-----
信 号 柱 鋼	-----⊙-----
家 屋	-----□-----
平 屋 コンクリート モルタル・木造	□ ㄣ ㄣ
2階建以上	3/□ 2/ㄣ 2/ㄣ
生 垣	~~~~~
ブロック又は万代堀	=====
ガードレール	-----
石 積	----- ~~~~~
植 樹	☼ ☼
ポ ス ト	⊙
公 衆 電 話	⊙
火 災 報 知 器	⊙
公 衆 便 所	W・C
交 番	⊗

(6) 構造物

[illegible]

付属資料 2 図面管理ファイルの DTD

成果品の電子媒体に格納する図面管理ファイル(DRAWING.xml)の DTD (DRAW04.dtd)を次に示す。

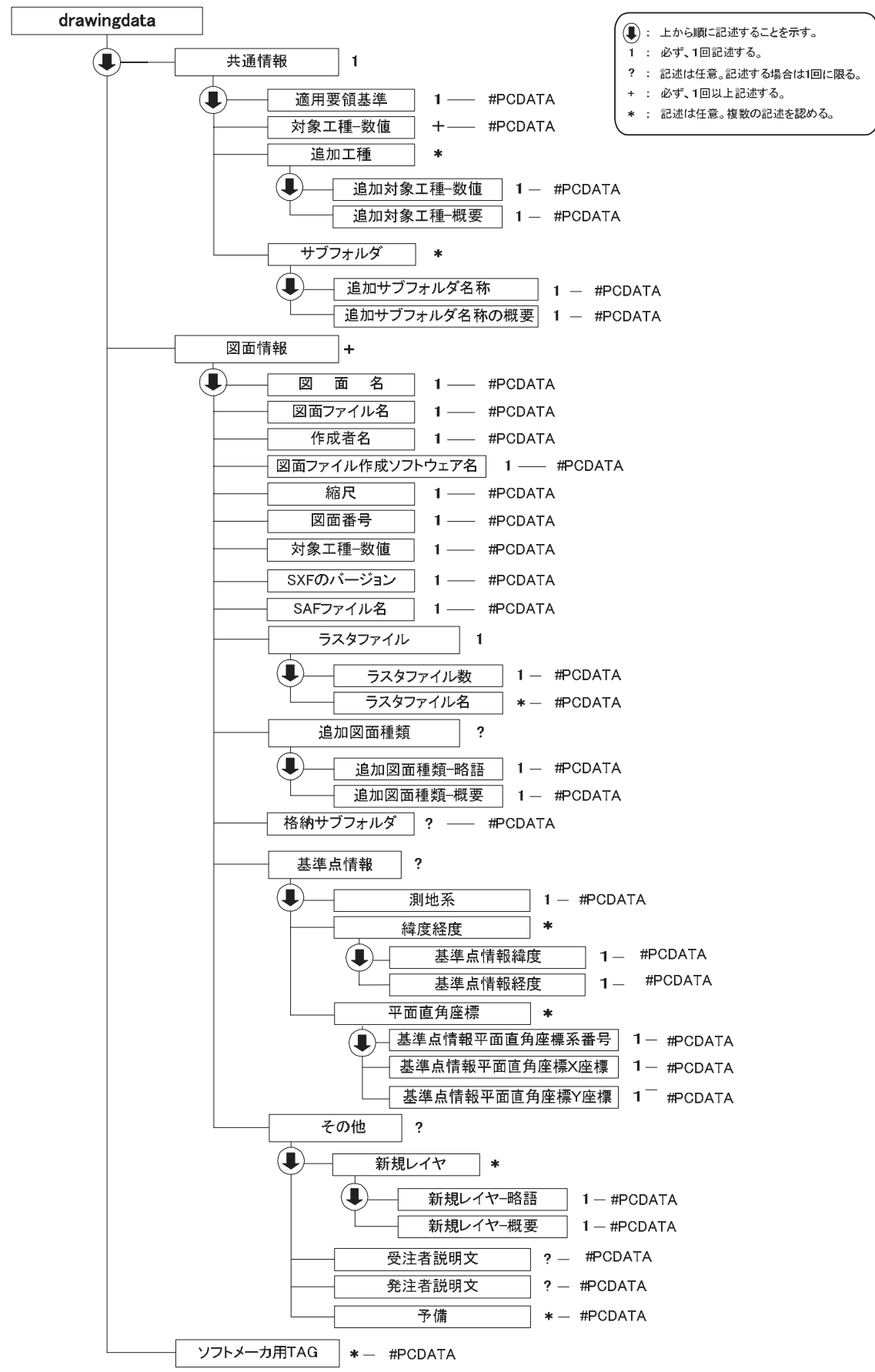
```
<!--DRAW04.DTD / 2008/05 -->
<!ELEMENT drawingdata (共通情報, 図面情報+, ソフトメーカー用TAG*)>
<!ATTLIST drawingdata DTD_version CDATA #FIXED "04">

<!-- 共通情報 -->
<!ELEMENT 共通情報 (適用要領基準, 対象工種-数値+, 追加工種*, サブフォルダ*)>
<!ELEMENT 適用要領基準 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 対象工種-数値 (#PCDATA)>
<!-- 追加工種 -->
<!ELEMENT 追加工種 (追加対象工種-数値, 追加対象工種-概要)>
<!ELEMENT 追加対象工種-数値 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 追加対象工種-概要 (#PCDATA)>
<!-- サブフォルダ -->
<!ELEMENT サブフォルダ (追加サブフォルダ名称, 追加サブフォルダ名称の概要)>
<!ELEMENT 追加サブフォルダ名称 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 追加サブフォルダ名称の概要 (#PCDATA)>

<!-- 図面情報 -->
<!ELEMENT 図面情報 (図面名, 図面ファイル名, 作成者名, 図面ファイル作成ソフトウェア名, 縮尺, 図面番号, 対象工種-数値, SXFのバージョン, SAFファイル名, ラスタファイル, 追加図面種類?, 格納サブフォルダ?, 基準点情報?, その他?)>
<!ELEMENT 図面名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 図面ファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 作成者名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 図面ファイル作成ソフトウェア名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 縮尺 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 図面番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT SXFのバージョン (#PCDATA)>
<!ELEMENT SAFファイル名 (#PCDATA)>
<!-- ラスタファイル -->
<!ELEMENT ラスタファイル (ラスタファイル数, ラスタファイル名*)>
<!ELEMENT ラスタファイル数 (#PCDATA)>
<!ELEMENT ラスタファイル名 (#PCDATA)>
<!-- 追加図面種類 -->
<!ELEMENT 追加図面種類 (追加図面種類-略語, 追加図面種類-概要)>
<!ELEMENT 追加図面種類-略語 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 追加図面種類-概要 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 格納サブフォルダ (#PCDATA)>
<!-- 基準点情報 -->
<!ELEMENT 基準点情報 (測地系, 緯度経度*, 平面直角座標*)>
<!ELEMENT 測地系 (#PCDATA)>
<!-- 緯度経度 -->
<!ELEMENT 緯度経度 (基準点情報緯度, 基準点情報経度)>
<!ELEMENT 基準点情報緯度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 基準点情報経度 (#PCDATA)>
<!-- 平面直角座標 -->
<!ELEMENT 平面直角座標 (基準点情報平面直角座標系番号, 基準点情報平面直角座標X座標, 基準点情報平面直角座標Y座標)>
<!ELEMENT 基準点情報平面直角座標系番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 基準点情報平面直角座標X座標 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 基準点情報平面直角座標Y座標 (#PCDATA)>
<!-- その他 -->
<!ELEMENT その他 (新規レイヤ*, 受注者説明文?, 発注者説明文?, 予備*)>
<!-- 新規レイヤ -->
<!ELEMENT 新規レイヤ (新規レイヤ-略語, 新規レイヤ-概要)>
<!ELEMENT 新規レイヤ-略語 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 新規レイヤ-概要 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 受注者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 発注者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>

<!ELEMENT ソフトメーカー用TAG (#PCDATA)>
```

DRAW04.DTD の構造図



↓ : 上から順に記述することを示す。
 1 : 必ず、1回記述する。
 ? : 記述は任意。記述する場合は1回に限る。
 + : 必ず、1回以上記述する。
 * : 記述は任意。複数の記述を認める。

付属資料 3 図面管理ファイルの XML 記入例

成果品の電子媒体に格納する図面管理ファイル(DRAWING.xml)の記入例を次に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE drawingdata SYSTEM "DRAW04.DTD">
<drawingdata DTD_version="04">

  <共通情報>
    <適用要領基準>土木200805-01</適用要領基準>
    <対象工種-数値>200</対象工種-数値>
    <追加工種>
      <追加対象工種-数値>200</追加対象工種-数値>
      <追加対象工種-概要>管路又は配管</追加対象工種-概要>
    </追加工種>
    <サブフォルダ>
      <追加サブフォルダ名称>PIPE01</追加サブフォルダ名称>
      <追加サブフォルダ名称の概要>〇〇管路計画1工区</追加サブフォルダ名称の概要>
    </サブフォルダ>
    <サブフォルダ>
      <追加サブフォルダ名称>PIPE02</追加サブフォルダ名称>
      <追加サブフォルダ名称の概要>〇〇管路計画2工区</追加サブフォルダ名称の概要>
    </サブフォルダ>
  </共通情報>

  <図面情報>
    <図面名>一般平面図</図面名>
    <図面ファイル名>DOKM001Z.P21</図面ファイル名>
    <作成者名>〇〇建設コンサルタント株式会社</作成者名>
    <図面ファイル作成ソフトウェア名>〇〇CADVer1.0</図面ファイル作成ソフトウェア名>
    <縮尺>1:10000</縮尺>
    <図面番号>1</図面番号>
    <対象工種-数値>200</対象工種-数値>
    <SXFのバージョン>3.0</SXFのバージョン>
    <SAFファイル名>0</SAFファイル名>
    <ラスタファイル>
      <ラスタファイル数>0</ラスタファイル数>
      <ラスタファイル名></ラスタファイル名>
    </ラスタファイル>
    <追加図面種類>
      <追加図面種類-略語>/>
      <追加図面種類-概要>/>
    </追加図面種類>
    <格納サブフォルダ>PIPE01</格納サブフォルダ>
    <基準点情報>
      <測地系>01</測地系>
      <緯度経度>
        <基準点情報緯度>1384115</基準点情報緯度>
        <基準点情報経度>0352250</基準点情報経度>
      </緯度経度>
      <平面直角座標>
        <基準点情報平面直角座標系番号>06</基準点情報平面直角座標系番号>
        <基準点情報平面直角座標X座標>-8298.682</基準点情報平面直角座標X座標>
        <基準点情報平面直角座標Y座標>-34857.294</基準点情報平面直角座標Y座標>
      </平面直角座標>
    </基準点情報>
    <その他>
      <新規レイヤ>
        <新規レイヤ-略語>D-BMK-〇〇〇〇</新規レイヤ-略語>
        <新規レイヤ-概要>設計図面背景の〇〇〇に関するレイヤ</新規レイヤ-概要>
      </新規レイヤ>
      <新規レイヤ>
        <新規レイヤ-略語>D-STR-XXXX</新規レイヤ-略語>
        <新規レイヤ-概要>設計図面主構造物のXXXに関するレイヤ</新規レイヤ-概要>
      </新規レイヤ>
```

<受注者説明文/>
<発注者説明文/>
<予備/>
</その他>
</図面情報>
<ソフトメーカー用TAG/>
</drawingdata>

上水道施設に係わるC A D製図基準（案）

平成24年7月 策定

編集 社団法人 日本水道協会
東京都千代田区九段南四丁目8番9号
TEL 03(3264)2496